

文化論集第 43・44 合併号
2014 年 3 月

資 料

手引き

ドイツ語読解の戦略と戦術 (3)

——文法的戦術 (2) 精読時の文法的諸問題——

2014年3月

早稲田大学商学部

原 口 厚

目次

0. はじめに	26
0. 1. 本手引きの利用法	28
0. 2. 註と例文の出典	30
1. 分離動詞	30
1. 1. 分離動詞の見破り方	32
1. 1. 1. 前置詞に由来するもの	32
1. 1. 2. 出現頻度が高いもの	34
1. 1. 3. 文末の孤立した語	35
2. zu 不定句	36
3. 定関係代名詞と指示代名詞	42
3. 1. 関係代名詞とは何か	42
3. 2. 指示代名詞	44
3. 3. 関係代名詞の見破り方	47

4. 不定関係代名詞と関係副詞	49
4.1. 不定関係代名詞	49
4.1.1. 人の場合	49
4.1.2. 物・事の場合	52
4.2. 関係副詞	57
4.2.1. 場所の場合	57
4.2.2. 時間の場合	58
5. 事実と非現実	58
5.1. 非現実話法	59
5.2. よく使われる接続法Ⅱ式	60
5.2.1. sein / werden / haben	60
5.2.2. 話法の助動詞	61
5.2.3. 一般の動詞	61
5.3. 過去の非現実的な仮定・結論の表現	62
6. 著者のことばと引用	64
6.1. 直接話法と間接話法	64
6.2. 接続法Ⅰ式と三人称	68
6.3. 接続法Ⅱ式の使用	68
6.3.1. sein / werden / haben	69
6.3.2. 話法の助動詞	69
6.3.3. 一般の動詞	69
6.4. 過去のことの引用	70
7. sollen と 〈～すべきである〉	72
8. da + 前置詞と wo + 前置詞	75
8.1. da + 前置詞	75
8.2. wo + 前置詞	80
9. wenn の省略	82
9.1. wenn の省略の見破り方	83

9. 1. 1. 決定疑問文の場合	83
9. 1. 2. 命令形の場合	84
9. 1. 3. wenn の省略?	84
10. 定動詞要素・分離前つづりの文頭配置	86
10. 1. 定動詞要素の場合	86
10. 2. 分離前つづりの場合	89
11. 枠構造外配置	90
11. 1. 文肢文, 不定詞構文の場合	92
11. 2. 付加語文の場合	92
11. 3. 比較文の場合	93
12. 同一者／物の把握	95
13. 同格の並置	100
14. 形容詞と副詞の区別	103
15. 現在分詞と過去分詞の意味内容と用法	107
15. 1. 現在分詞	107
15. 2. 過去分詞	109
16. 比較級・最上級における二重の語尾	111
17. 形容詞の名詞化	113
18. 現在分詞と過去分詞の名詞化	119
18. 1. 現在分詞の場合	119
18. 2. 過去分詞の場合	121
19. 分詞構文	122

20. 冠飾句	124
21. おわりに	128
参考文献	131
例文出典	132

0. はじめに

本稿は下記二編の続編である。したがって作成の趣旨やドイツ語教育に対する基本的な考え方、授業条件などは今回も同じである。いずれも「早稲田大学リポジトリ」と商学部のホームページで公開されている。適宜参照されたい。
本文中ではそれぞれ〈戦略と戦術 (1)〉、〈戦略と戦術 (2)〉と略記する。

原口 厚. (2012). ドイツ語読解の戦略と戦術 (1) —読解過程／読解の戦略と読解学習の戦略／理解の第一歩としての概要把握—. 『文化論集』. 第39・40 合併号. 早稲田商学同攻会. pp. 229-291.

原口 厚. (2013). ドイツ語読解の戦略と戦術 (2) —文法的戦術 (1) 定動詞の位置と枠構造／複合文の分割／文成分への分解—. 『文化論集』 第41・42 合併号. 早稲田商学同攻会. pp. 179-245.

前回主に扱ったのは、定動詞の位置と枠構造などによって文構造や文の各種の切れ目などを見きわめ、複合文を部分文に、部分文を文成分に分解する戦術であった。これは次のような考えに基づくものである：

長文の全体に向けて、いきなり頭から突撃するのは軽率かつ愚かであり、読解という作戦行動 (Operation) の体をなしていない。必要なのは全体をまず偵察し、これをいくつかの比較的小さな部分に分断し、組しやすいところから個別撃破を図り、その成果も利用しつつさらに他の部分の理解を追求することである。相手が強大で、自らが劣弱な場合にはとりわけこうした周到な下工作が不可欠である。

今回取り上げるのは、こうした下準備をしたとしても、その後の読解作業において内容理解の障害として次々と立ち現われるであろう文法上の諸問題である。テキストを大まかに理解するだけならこのような詳細な文法は不要である。しかし読むに際しては、内容の厳密かつ精確な理解が必要な場合も存在する。今回想定するのはこうした状況である。要は目標に応じて各種の読み方を使い分けることである。解説にあたって目標とするのは、事象の言語学的解明ではなく、読解作業に際して問題をそれと認識し、これにうまく対処し、テキスト理解を進める戦術的方策である。とりあげた項目の選定は筆者の個人的経験と授業経験によっている。

今日の大学のドイツ語教育においては、kommunikativer Ansatz の考え方の下、〈話す〉、〈聞く〉も取り込んだ新しい方式の授業も行われるようになっている。しかしそうした中でも、ドイツ語圏との地理的關係などを考えれば、日本のドイツ語授業では今後も何らかの形でテキストを読む機会は少なくないであろう。また一方で、中学・高校などでの英語の読解は、とりわけ受験勉強などの影響のもと、ともすれば〈問題を解く得点ゲーム〉となりがちである (戦略と戦術 (2), pp. 241-244)。これらのことを考慮するならば、ドイツ語読解授業に必要なのは、読解の理に基づき、戦略と戦術の両面にわたって内容面での具体的改善を行うことである。

今回は、前回以上に精密な調査と研究を要する個所が多い。しかしこれを

行っている時間と労力は筆者には乏しい。そこで〈見切り発車〉を行った。前にも述べたように、2012年からの一連の拙稿は、これまでの個人的蓄積や授業経験を現時点でできる限り書き残しておこうとするものである。本稿を契機ないしは反面教師として、この試みを若い教員、学習者諸氏が引き継ぎ、よりよき読解の手引きができあがる日が来ることを期待する。

本稿の作成にあたって、同僚の Dr. Willi Lange 氏に今回も多く協力と貴重な助言をいただいた。この場を借りて、深く感謝の意を表したい。

0. 1. 本手引きの利用法

本稿を利用するに際しては、次のような点に意を用いていただきたい。これはまた〈戦略と戦術 (1)・(2)〉の要旨でもある。

1) 本稿の目標はテキスト中の実例から文法を帰納的に理解することである。例文を通読し、課題とともに例文の概要を理解してから解説に進んでほしい。

読解力育成にとって最も重要なのは、当然のことながら、読み慣れることである。そのためには大量に読む必要がある。またテキストの理解には内容的知識や前後の脈絡が不可欠である。読解作業は〈総力戦〉であり、これを語彙や文法といった言語知識の問題のみに矮小化してはならない（戦略と戦術 (1), pp. 256-258）。

そこで例文について、課題とともにそれがどのようなテキストから採録したものかを簡単に記しておいた。内容理解に際しては、こうした面からの内容的知識や推測なども活用してほしい。

2) 例文を読むに際しては、プンクト (〈.〉) やコンマ (〈,〉), ドッペルプンクト (〈:〉) などの目に見える文の切れ目のみならず、目に見えない切れ目も把

握し、全体をなるべく短い文に分断する（戦略と戦術 (2), pp. 215-230）。その重要な手掛かりとなるのは、定動詞と定動詞要素、分離動詞などから形成される枠構造である。そのうえで各文をさらに文成分に分解する（戦略と戦術 (2), pp. 230-238）。

3) 辞書は使用してよい。但し一語でも少なく引くように努めること。即ち、未知の語を最初から一語ずつ引くようなことは決してせず、まず全体を通読して、内容理解にとって重要そうな未知の語をいくつか見きわめる。そのうえで、これを重要性の順に一語引いてはテキスト内容や他の語の意味内容を考え、また次の語に進むような狙撃的な引き方に努めること（戦略と戦術 (1), pp. 271-273）。

4) 課題と文法事項の解説に際しては、〈目に見えない文の切れ目〉も利用し、原文を短く分断して番号を付した解説用テキストをまず最初に配置した。独力で原文が理解でき、課題ができる場合には、これはもとよりとばしていただいて結構である。

5) 例文の日本語による言い換え（Wiedergabe）の目的は、内容理解の一助とすることである。したがって、翻訳のような〈きれいな日本語〉にはしていない。あえて各部分文ごとに、なるべく原文の語順に沿って〈直訳〉的な日本語への置き換えを試みた。これは次のような理由によるものである：

言語の特徴の一つは、時間軸に沿っての〈線状性〉である。そこで日本語には日本語の、ドイツ語にはドイツ語なりの語順や文構成などの原則がある。そこでドイツ語を理解するためには、ドイツ語の語順に沿って前から後ろに向けて理解してゆく必要がある。

6) 例文には他の章で扱っている文法事項が含まれている場合も少なくない。必要に応じて、当該の章も参照してほしい。

0. 2. 註と例文の出典

註は各章の最後に配置した。

例文は下記から採録した。例文には適宜略称を付し、正式な表題と出典は最後にまとめて掲載した。

I 早稲田大学商学部 of 二年次生を対象とする〈ドイツ語Ⅱ 総合〉において、毎年秋学期に使用している過去数年間の〈統一教材〉。教材化にあたって、原文の一部について削除、変更などを行っている場合がある。

Ⅱ 筆者が担当する〈外国語Ⅲ ドイツ語読解法〉の授業で過去数年間に使用した教材テキスト。

Ⅲ 2011 年の東日本大震災に伴い、延期された授業開始日までの新二年次生への課題テキスト。

1. 分離動詞

課題

(1)はかつて投資銀行に勤務していた女性への、(2)はドイツの子供に人気があるテレビの動画番組の作者に対するインタビューの一部である。どれが分離動詞であろうか。

(1) **SZ:** Wie war Ihr Leben nach 16 Uhr?

Stcherbatcheff: Man lebt als Händlerin auch nach Dienstschluss wie in einer Blase. Während der fünf Jahre als Bankerin ging ich nur mit Leuten aus der City aus. Das machen alle: Sie treffen sich immer in denselben Restaurants und feiern in den selben Clubs. (Investmentbankerin, S. 2)

SZ: Süddeutsche Zeitung

(2) Meine Frau und ich haben sehr früh gemerkt, dass wir beide ähnlich verrückt und gleichzeitig auch sehr unterschiedlich sind. Meine Frau ist Kostümbildnerin und sehr modebewusst, und ich habe immer nur die gleichen Klamotten an. Ich bin seit über dreißig Jahren in keinem Laden mehr gewesen. (Die Maus, S. 2)

解説

分離動詞とは、「基礎となる動詞に必ずアクセントがある『前つづり』と呼ばれる成分が付いて、意味が拡張されたもの」(清野, p. 256)である。zusammen|arbeiten⁽¹⁾の場合, arbeiten (働く)にzusammen (一緒に)が附加されることによって、〈一緒に働く, 共同作業をする〉となる。

非分離動詞は be-, emp-, ent-, er-, ge-, ver-, zer-, miß- の八つしかない。これに対して分離動詞の前つづりは数が多く、すべてを覚えてしまうというわけにはゆかない。そこで筆者の経験では、不慣れなうちは文末の語を分離動詞の前つづりと認識すること自体が困難である。しかしこれが文の切れ目を把握するに際しての重要な手掛かりの一つとなることは前回見たとおりである (戦略と戦術 (2), pp. 226-227)。

1. 1. 分離動詞の見破り方

これには確実な方法があるわけではない。まず次の三点を手掛かりとして習得を進めてほしい。

1. 1. 1. 前置詞に由来するもの

(1)' **SZ:** ① Wie war Ihr Leben nach 16 Uhr?

Stcherbatcheff: ② Man lebt als Händlerin auch nach Dienstschluss wie in einer Blase. ③ Während der fünf Jahre als Bankerin **ging** ich nur mit Leuten aus der City **aus**. ④ Das machen alle: ⑤ Sie treffen sich immer in denselben Restaurants ⑥ und feiern in den selben Clubs.

(2)' ① Meine Frau und ich haben sehr früh gemerkt, ② dass wir beide ähnlich verrückt ③ und gleichzeitig auch sehr unterschiedlich sind. ④ Meine Frau ist Kostümbildnerin ⑤ und sehr modebewusst, ⑥ und ich **habe** immer nur die gleichen Klamotten **an**. ⑦ Ich bin seit über dreißig Jahren in keinem Laden mehr gewesen.

答は(1)'の③の aus|gehen (出かける, 外出する)と(2)'の⑥の an|haben (身に着けている, 着ている)である。

分離動詞の前つづりには前置詞に由来するものが少なくない。(1)'の③の aus と(2)'の⑥の an は、語形の上からは前置詞でもありうる。しかしもしこれらが前置詞ならば、〈前二置ク詞 (ことば)〉という名称のとおり、(1)'の③における aus der City の場合のように、その後に名詞あるいは人称代名詞が続くはずである。これに対して、この二つの文はいずれも aus と an で文が終了している。したがってこれらは前置詞ではない。こうした場合は分離動詞の前

つづりである可能性が高い⁽²⁾。

前置詞の数はそれほど多いわけではない。そこでまず前置詞の習得に力を入れてほしい。これによって、前置詞についての理解が進むのみならず、前置詞と同形の分離前つづりも目に入りやすくなるであろう。前置詞に由来する前つづりが見破れるだけでも、分離動詞全体の少なからぬ部分は捕捉できるはずである。

また、分離動詞の意味内容が「その前置詞が持つ抽象的な意味からある程度予測可能」(清野 p.257)である場合も少なくない。aus|gehen は aus (中から外へ) と gehen (行く), an|haben は an (接して, くっついて) と haben (持っている, 備えている) の組み合わせとして考えれば, 辞書を引かずとも, 内容的知識や前後関係などから, おおよその意味内容は推測可能であろう。前置詞に習熟することによる見返りは大きい。

★(1) 南ドイツ新聞：①あなたの生活は 16 時以後はどのようなでしたか。

シェルパチェフ：②人々は売買担当者として勤務終了後も気泡の中のように暮らしています。③銀行員としての 5 年間に私はシティーの人とだけ外出しました。④それをみんながしているのです：⑤彼らはいつも同じレストランで会います, ⑥そして同じクラブで祝いごとををするのです。

★(2) ①私の妻と私はごく早くから気付いていました, ②私たちは共に同じように常識はずれであるということに, ③そして同時にとても異なってもいるということに。④私の妻は衣装デザイナーです, ⑤そして (彼女は) とても流行を意識しています, ⑥そして私はいつも同じようなぼろ服ばかりを身に着けています。⑦私は 30 年以上 (洋服) 店に入ったことがありません。

1. 1. 2. 出現頻度が高いもの

課題

(3)はドイツ人の姓の研究家である Jürgen Udolph 教授に対するインタビューの一部である。どれが分離動詞であろうか。

(3) Rufnamen wie Ulrich oder Carstens gingen aus Vornamen hervor. Herkunftsnamen gehen auf die Heimat eines Menschen zurück. Ein Herr Merseburger kommt aus Merseburg, Frau Frankfurter aus Frankfurt. (Namenforschung, S. 2)

解説

(3)' ① Rufnamen wie Ulrich oder Carstens **gingen** aus Vornamen **hervor**. ② Herkunftsnamen **gehen** auf die Heimat eines Menschen **zurück**. ③ Ein Herr Merseburger kommt aus Merseburg, ④ Frau Frankfurter aus Frankfurt.

答は①の hervor|gehen と②の zurück|gehen である。〈aus ～ hervor|gehen〉とはそもそもは〈～ から外へ出て行く〉であり、〈auf ～ zurück|gehen〉は〈～ へ戻ってゆく〉ということである。

テキストを読んでいると、前置詞と同形のもの以外にも、よく出会う前つづりがある。hervor (外へ, こちらへ), zurück (後ろへ, 元の場所へ) などのように、頻繁に使用され、意味内容が明確なものは覚えてしまうのが一番である。これらは副詞としても使用されることなどから、これによって語彙力全般も向上する。

★①ウルリヒあるいはカルステンズといった名前は、(苗字ではなく、各個人

の) 名から生じました。②出所名はある人の故郷にさかのぼります。③メルゼブルガーさんという人はメルゼブルクの出身です, ④フランクフルターさんはフランクフルト出身です。

前置詞と同形のものと, 頻出する前つづりを習得するだけでも分離動詞のか
なりの部分は片付くであろう。それ以外に対しては次の方策が考えられる。

1. 1. 3. 文末の孤立した語

課題

(4)はドイツの少子高齢化に関するテキストの一部である。分離動詞はどれであ
らうか。

(4) Die Zahl der Geburten sank von 1,3 Millionen im Jahr 1961 auf rund 700 000 im letzten Jahr. Mit Nachwuchsproblemen steht Deutschland nicht alleine da. Ähnlich niedrige Geburtenraten haben zum Beispiel Italien und Österreich. (Weniger Kinder)

解説

(4)' ① Die Zahl der Geburten sank von 1,3 Millionen im Jahr 1961 auf rund 700 000 im letzten Jahr. ② Mit Nachwuchsproblemen **steht** Deutschland nicht alleine **da**. ③ Ähnlich niedrige Geburtenraten haben zum Beispiel Italien und Österreich.

〈答〉は②の da|stehen である。しかしこの da はそもそもは〈そこに〉という場所の副詞である。したがってこの文は, 文字通りには〈後継ぎの問題とともに, ドイツはただ一人でそこに立っているわけではない〉という意味であ

る。それでも前後の脈絡から、〈跡を継ぐ子供が少ない国は他にもある〉ということは十分理解されよう。

分離動詞とは定動詞と文末に置かれる自立性のない目的語や副詞的成分の結びつきが固定化したものである（戦略と戦術（2）、pp.195-196）。したがってある定動詞と定動詞要素の組み合わせが分離動詞であるか否かは解釈の問題でもある⁽³⁾。

いずれにせよテキスト理解にとって重要なのは、定動詞と文末の語からなる枠構造を把握し、その意味内容を考えることである。そこでこの da のように、どこにつながるか分からない語が文末にぽつんとあるようなときは、分離動詞である可能性を視野に入れつつ、定動詞と結びつけて考えてみるとよいであろう。

★①出生の数は1961年の130万から昨年の約70万に低下した。②後継ぎの問題でドイツは並ぶものがないわけではない。③同様に低い出生率を例えばイタリアとオーストリアが有している。

註(1) 〈|〉は分離動詞の前つづりと基礎動詞（基礎となる動詞）の区切りを表す。

(2) 前置詞らしきもので文が終わっていても、分離動詞の前つづりではない場合も存在する。そうした一例については50頁を参照のこと。

(3) 小学館の大独和辞典は〈stehen ~ da〉をda|stehenという分離動詞として採録している。

2. zu 不定句

課題

(5)は腕利きの給仕長へのインタビューの一部である。斜体の部分は下線部全体の中で文法的にどのような役割を果たしているのだろうか。

(5) **Frage:** Die Nationalitätenfrage?

Hentschel: Die Klischees stimmen. Araber wollen ihr Fleisch „durch“, Italiener hinterlassen einen katastrophalen Tisch, und die Chinesen schlürfen ihre Suppe richtig laut. Amerikaner schneiden das Fleisch klein, legen das Messer auf den Tellerrand und essen mit der Gabel weiter. Wir müssen auch flexibel sein und unumstößliche Regeln brechen. Wenn zum Beispiel der Dolmetscher andeutet, dass es bei Arabern nicht üblich ist, *die Damen zuerst zu bedienen*. (Edel-Kellner, S. 2)

解説

(5)' **Frage:** ① Die Nationalitätenfrage?

Hentschel: ② Die Klischees stimmen. ③ Araber wollen ihr Fleisch „durch“, ④ Italiener hinterlassen einen katastrophalen Tisch, ⑤ und die Chinesen schlürfen ihre Suppe richtig laut. ⑥ Amerikaner schneiden das Fleisch klein, ⑦ legen das Messer auf den Tellerrand ⑧ und essen mit der Gabel weiter. ⑨ Wir müssen auch flexibel sein ⑩ und unumstößliche Regeln brechen. ⑪ Wenn zum Beispiel der Dolmetscher andeutet, ⑫ dass **es** bei Arabern nicht üblich ist, ⑬ *die Damen zuerst zu bedienen*.

斜体の部分は、⑫の dass に導かれる従属文の主語として機能している。そしてこの場合は⑫の es が代理主語として、〈本物の〉主語の die Damen zuerst zu bedienen という不定句を先取りするという形になっている。英語の〈It is ~ to ~〉という表現のようなものである。

不定詞の前に zu を付けたものは zu 不定詞、これにさらに副詞や目的語な

どを加えたものは zu 不定句と呼ばれる。これらは一種の名詞に相当する句で
あると考えると分かりやすい。ドイツ語の zu 不定詞や zu 不定句が基本的に
意味するところは、〈～すること〉である。したがって名詞の Schlaf（睡眠）
が主語あるいは目的語などとして使われるように、zu schlafen（眠ること）
も文内の役割に応じて、〈眠ることは／が～〉と主語として、あるいは〈眠る
ことを～〉と目的語としてなど用いられる。

★質問：①（お客の）国民性による問題は？

ヘンチェル：②ステレオタイプ（決まりきったイメージ）は本当です。③アラ
ブ人は彼らの肉に「十分に火を通して」ほしがり、④イタリア人はめちゃ
くちな（状態の）食卓を後に残し、⑤中国人は彼らのスープをほんとうに
大きな音を立ててすすります。⑥アメリカ人は肉を小さく切ります、⑦ナイ
フを皿の縁におきます、⑧そしてフォークで食事を続けます。⑨私たちは柔
軟でもなければなりません、⑩そして変更できない決まりも破らなければな
りません。⑪例えば、通訳がそれとなく（⑫、⑬のことを）知らせてきたと
きにです、⑫それはアラブ人のもとでは一般的ではないということを、⑬女
性に最初に給仕することは。

課題

(6)は日本の今後のエネルギー政策に関するインタビューの一部である。斜体
の部分の下線部全体の中で文法的にどのような役割を果たしているのであらう
か。

(6) Deutschland hat nach dem Unglück von Fukushima große Anteilnahme
gezeigt und sich entschlossen, komplett und innerhalb weniger Jahre aus der
Atomenergie auszusteigen und alle Atomkraftwerke vom Netz zu nehmen. Was

hat sich in Bezug auf die regenerativen Energien seit der Reaktorkatastrophe von Fukushima in Japan politisch geändert? (Energiewende, S. 1)

解説

(6)' ① Deutschland **hat** nach dem Unglück von Fukushima große Anteilnahme gezeigt ② und **sich entschlossen**, ③ *komplett und innerhalb weniger Jahre aus der Atomenergie auszusteigen* ④ *und alle Atomkraftwerke vom Netz zu nehmen*. ⑤ Was hat sich in Bezug auf die regenerativen Energien seit der Reaktorkatastrophe von Fukushima in Japan politisch geändert?

③と④の zu 不定句は①+②の〈hat sich ~ entschlossen (決意した)〉の目的語に相当する役割を果たしている。

なお③の auszusteigen の不定形は aus|steigen である。分離動詞の場合、zu は④の zu nehmen のように動詞の前に置くのではなく、このように前つづりと基礎動詞の間に挿入し、全体を一語として表記する。したがって語の中央に zu を含む語は、分離動詞の zu 不定詞であると思ってほぼ間違いない。

またドイツ語では、zu 不定詞は③の〈aus der Atomenergie auszusteigen〉のように句の末尾に置かれる。そこで読むという観点から見ると、zu 不定詞も〈目に見えない文の切れ目〉を発見する一つの手掛かりとなる。

★①ドイツは福島事故の後で大きな関心を示しました、②そして (③、④) 決意しました、③完全にそして数年以内に核エネルギーから手を引くことを、④そしてすべての原子力発電所を送電網から外すことを。⑤再生可能エネルギーについて、福島原子炉の大惨事以来日本では何が政治的に変化し

たのでしょうか。

課題

(7)はドイツの百貨店業界の再編成に関するテキストの一部である。斜体の部分は下線部全体の中で文法的にどのような役割を果たしているのであろうか。

(7) Der schwer angeschlagene Karstadt-Mutterkonzern, Arcandor, beantragt Insolvenz, nachdem die Bundesregierung staatliche Hilfe abgelehnt hat. [...] Ohne Staatsgarantie hatte der Konzern kaum noch Chancen, *neue Bankkredite zu erhalten oder bestehende zu verlängern.* (Einzelhandel, S. 1)

解説

(7)' ① Der schwer angeschlagene Karstadt-Mutterkonzern, ② Arcandor, ③ beantragt Insolvenz, ④ nachdem die Bundesregierung staatliche Hilfe abgelehnt hat. [...] ⑤ Ohne Staatsgarantie hatte der Konzern kaum noch **Chancen**, ⑥ *neue Bankkredite zu erhalten* ⑦ *oder bestehende zu verlängern.*

⑥と⑦の zu 不定句は、⑤の Chancen がどのような Chancen であるか、その具体的内容を説明している。zu 不定句は主語や目的語相当句として用いられるほかに、このように前出の名詞の具体的内容を表すために用いられる場合も多い。なお⑦の bestehende の後には Bankkredite が省略されている。

⑥'+⑦' neue Bankkredite zu erhalten oder **bestehende (Bankkredite)** zu verlängern.

★①深く傷ついたカールシュタットの親コンツェルンは、②アルカンドーア

は、③破産を申請する、④連邦政府が国による救済を拒否した後に。〔…〕
 ⑤国の保証なしには、そのコンツェルンには(⑥、⑦の)機会がほとんどな
 かった、⑥新しい銀行融資を受けるといふ、⑦あるいは既存の融資を延長す
 るという。

課題

(8)は発展途上国の繊維産業における劣悪な労働条件と公正な取引に関するイ
 ンタビューの一部である。斜体の部分は下線部全体の中でどのような文法的役
 割を果たしているのでしょうか。

(8) Bangladesch hat die niedrigsten Löhne weltweit. [‥] Aber in Ländern
 wie Indien und Vietnam sieht es kaum besser aus. Überall sind die Min-
 destlöhne zu niedrig, weil sie nicht reichen, *um eine Familie zu ernähren.*
 (Bangladesch, S. 1)

解説

(8)' ① Bangladesch hat die niedrigsten Löhne weltweit. [‥] ② Aber in Län-
 dern wie Indien und Vietnam sieht es kaum besser aus. ③ Überall sind die
Mindestlöhne zu niedrig, ④ weil sie nicht reichen, ⑤ *um eine Familie zu*
ernähren.

⑤の zu ernähren は冒頭の um と共に、〈一家を養うために〉という目的を
 表している。このようにドイツ語では、〈～するために～〉は〈um + zu 不定
 詞／句〉で表される。ほかに〈ohne + zu 不定詞／句 (～することなしに～)〉、
 〈(an)statt + zu 不定詞／句 (～する代わりに～)〉という表現もある。

- ★①バングラデシュは世界中で最低の賃金をもっている。〔…〕②しかしインドやベトナムなどのような国において、状況がより良いようにはほとんど見えない。③いたるところで最低賃金が低すぎる、④なぜならば、それ（最低賃金）が十分ではないからである、⑤一家を養うために。

3. 定関係代名詞と指示代名詞

3. 1. 関係代名詞とは何か

課題

(9)はポルトガルからスイスに来て清掃の仕事をしている Monica Casimilo という女性に関するテキストの一部である。下線を付した Aufträge とは具体的にどのようなものだろうか。

(9) Aktuell verdient Monica Casimilo rund 4000 Franken im Monat. «Wenn Ferien sind, habe ich Lohnausfall. Und manchmal habe ich Aufträge, die über das Wochenende dauern. […]

解説

(9)' ① Aktuell verdient Monica Casimilo rund 4000 Franken im Monat. «② Wenn Ferien sind, ③ habe ich Lohnausfall. ④ Und manchmal habe ich Aufträge, ⑤ **die (Aufträge)** über das Wochenende **dauern**. […]

⑤は定関係代名詞（以下〈関係代名詞〉と記述）dieによって導かれる関係文である。〈関係代名詞〉とは〈関係スル名詞ノ代り〉ということである。〈関係スル名詞〉とはいわゆる〈先行詞〉, すなわち〈先行スル詞（ことば）〉である。(9)では Aufträge がそれであり, Aufträge が具体的にどのようなもので

あるかは関係文によって説明されている。なお関係文は副文なので、定動詞 (dauern) は文末に置かれる。

④と⑤の内容は、次のように二文に分けても伝達することができる。

④' Und manchmal habe ich **Aufträge**.

私はしばしば仕事の依頼を手にする。

⑤' **Die Aufträge dauern** über das Wochenende.

その仕事の依頼は週末の間続く。

名詞は一般に長く、重い。そこで Aufträge と述べた直後にまた die Aufträge と繰り返すのは面倒かつ不経済である。そこで名詞は省略し、その〈代り〉として、定冠詞の部分のみ残置したのが〈関係代名詞〉であると思えばよい。そこで関係文とは、先行詞について後から補足的に説明する役割を果たしていると考えてもよいであろう。

したがって④と⑤の内容を日本語で述べるに際して、かつて教室でよく行われていたように、⑤から④に戻って〈私はしばしば週末の間続く (ところの) 仕事の依頼を〜〉とする必要はない。⑤の関係代名詞 die が Aufträge であることを踏まえつつ④から⑤へとドイツ語の順番で進めばよい。

先行詞を本社とすれば、関係代名詞は支店のようなものである。そうである以上、両者は同じ会社でなければならない。本社がトヨタなら支店もトヨタでなければならない、ホンダであってはならない。したがって先行詞と関係代名詞の性と数 (男性・女性・中性・複数) は一致しなければならない。しかし関係文という〈地域〉の中で支店が果たす役割 (格) は、主文における本社こそ

れとは異なる。そこで先行詞と関係代名詞の格はそれぞれの文の中での役割によって決まる。(9)では Aufträge は haben の 4 格目的語であるのに対して, die は関係文の主語であることから 1 格である。

★①現在モニカ カシミロは月に約 4000 フランの収入を得ている。②休暇になると, ③私は収入がなくなります。④その時には時折仕事の依頼を得ます, ⑤それ(仕事の依頼)は週末の間続きます。[...]

④+⑤ 私は時折, 週末の間続く仕事の依頼を得ます。

3. 2. 指示代名詞

課題

(10)は腕利きの給仕長へのインタビューの一部である。下線を付した ein Lieblingsgast とは具体的にどのような人物であろうか。

(10) **Frage:** Der verrückteste Gast?

Hentschel: Das ist auch ein Lieblingsgast. Der hat fünf Kinder von drei Frauen und jede Menge Beziehungen. Als ich mal in New York war, rief er hier aus dem Restaurant an und sagte: „Du bleibst länger – ich komme, dann gehen wir ins ‚Cipriani‘ essen.“ (Edel-Kellner, S. 2)

解説

(10) **Frage:** ① Der verrückteste Gast?

Hentschel: ② Das ist auch ein Lieblingsgast. ③ **Der (Lieblingsgast) hat** fünf Kinder von drei Frauen und jede Menge Beziehungen. ④ Als ich mal in New York war, ⑤ rief er hier aus dem Restaurant an ⑥ und sagte: ⑦ „Du bleibst

länger – ⑧ ich komme, ⑨ dann gehen wir ins ‚Cipriani‘ essen.“

関係代名詞と似たものに指示代名詞 *der* (以下〈指示代名詞〉と記述) がある。指示代名詞は複数 2 格において, *deren* の他に〈*derer*〉という別形があること以外は, 関係代名詞と同形である。口頭では, やや強く長めに発音される。しかし関係代名詞と決定的に異なるのは, 指示代名詞では定動詞は後置されず, 主文では正置ないしは倒置されることである。上の場合, ③の定動詞 *hat* は冒頭の *der* に続いて文中の二番目の位置にあることに注目してほしい。

指示代名詞は, 定冠詞の後ろの名詞 (*Lieblingsgast*) が省略されていると考えてもよいであろう。したがって指示代名詞もまた, 先行する名詞の繰り返しを避けつつ, これに言及することばである。したがって, 上の文では③が②の *ein Lieblingsgast* の説明となっている。

③は下記のように, 人称代名詞の *er* を使っても表現することができる。両者の違いは, 指示代名詞の方が指示性が強いことである。

③' **Er hat** fünf Kinder von drei Frauen und ~ .

彼は三人の女性に生ませた五人の子供と ~ をもっている。

★質問：①もっともとんでもないお客は？

ヘンツェル：②それは愛すべきお客でもあります。③そいつは三人の女性に産ませた五人の子供とおびたしい女性関係をもっています。④私がかつてニューヨークに行った時, ⑤彼はこのレストランから電話してきました, ⑥そして言いました：⑦「お前はもっと長く（そこに）いろ-⑧俺が（そっちに）行く, ⑨そうしたら一緒に『ツィプリアーニ』に食事に行こう。」

なお⑦は形式的には〈普通の〉平叙文である。しかしこのように二人称を主語とする現在形を相手に向けて発すると、有無を言わず一方的に決めつける強い命令や要求となることがある。

課題

(11)はドイツの人口動態について述べたテキストの一部である。下線部ではなぜ *der* が二回連続しているのだろうか。

(11) Seit 1971 liegt die Zahl der Geburten stets unter der der Sterbefälle, auch Ende der 80er Jahre näherten sich beide Kurven nur kurzfristig an. (Kommen und Gehen)

解説

(11)' ① Seit 1971 liegt die Zahl der Geburten stets unter **der (Zahl)** der Sterbefälle, ② auch Ende der 80er Jahre näherten sich beide Kurven nur kurzfristig an.

定冠詞が二つ連続することはない。そこで後ろの *der* は Sterbefälle の定冠詞かもしれないが、前の *der* は定冠詞ではありえない。これは①の主語の *die Zahl* を指す指示代名詞である。*die (Zahl)* が *der* となっているのは、その前の前置詞 *unter* がこの場合 3 格支配だからである。一方 *der Sterbefälle* は複数 2 格である。

★① 1971 年から出生数は死亡のそれ（数）の下にある、② 80 年代の末にもこの二つの曲線は短期的に接近しただけである。

3. 3. 関係代名詞の見破り方

ドイツ語の関係代名詞の形は、多くの場合、定冠詞、指示代名詞と同じなので紛らわしい。判別にあたっては、次のような順序で考えてみるとよい。

1) 関係代名詞は、mit der, in dem などのように前置詞が前につく場合は別として、関係文の文頭に置かれる。主文と関係文は必ずコンマによって区切られるので、結果的に関係代名詞はコンマの直後にくる。したがって(9)'の⑤のdieのように、コンマの直後に来る一見定冠詞のような語は関係代名詞かもしれない。

2) しかしdieだけ取り出してみれば、定冠詞、関係代名詞、指示代名詞のいずれとも判別がつかない。しかし、もしこれが定冠詞ならば、その後ろに名詞が続くはずである。ドイツ語では名詞の最初の文字は大文字で書かれる。しかし(9)'の⑤の場合は、小文字で始まるüberという前置詞らしき語が続いていることから、このdieは定冠詞ではない。

3) 指示代名詞の場合、定動詞は主文では正置か倒置される。これに対して、関係文は副文なので、定動詞は常に後置される。(9)'の⑤の定動詞はdauernであり、文末に置かれている。したがって(9)'の⑤のderは指示代名詞ではなく、関係代名詞である。

4) 以上の関係代名詞判別の手掛かりをまとめて図式化すると次のようになる。〈非名詞〉に()を付した理由は、次の(12)を参照されたい。

…, der/dessen/dem/den/die/deren/das/denen + (非名詞) … 定動詞.

課題

(12)はまだ食べられるにもかかわらず捨てられた食料品をごみ箱から集める人々についてのテキストの一部である。下線部の *die* は、定冠詞、関係代名詞、指示代名詞のいずれだろうか。そしてその根拠は何であろうか。

(12) Falk Beyer leuchtet mit seiner Taschenlampe in eine graue Mülltonne. Es ist kurz nach Mitternacht. Zwischen Müllsäcken und leeren Dosen zieht er eine Tüte mit Mangos heraus. Falk aus Magdeburg ist auf der Suche nach Lebensmitteln, die Supermärkte einfach wegwerfen. Das wird “containern” genannt. (Containerer, S. 1)

解説

(12) ① Falk Beyer leuchtet mit seiner Taschenlampe in eine graue Mülltonne. ② Es ist kurz nach Mitternacht. ③ Zwischen Müllsäcken und leeren Dosen zieht er eine Tüte mit Mangos heraus. ④ Falk aus Magdeburg ist auf der Suche nach **Lebensmitteln**, ⑤ die (~~Lebensmitteln~~) Supermärkte einfach **wegwerfen**. ⑥ Das wird “containern” genannt.

下線部と次の語は一見〈*die* Supermärkte〉という定冠詞と名詞の組み合わせのように見えるかもしれない。しかしこの文では定動詞の *weg|werfen* は後置されている。そこでこの *die* は *Lebensmitteln* という複数形を先行詞とする関係代名詞であり、*wegwerfen* の4格目的語である。後ろの *Supermärkte* は関係文の主語であり、無冠詞の複数形の1格である。こうした場合もあるので、47頁の4)では(非名詞)とした。もし *die* が *Supermärkte* の定冠詞だとするならば、⑤の中で、主語ないしは4格目的語のいずれかが不足することとなる。また *die* が指示代名詞の4格で、*Supermärkte* が1格ならば、定動詞は次のよ

うに二番目に置かれ、分離前つづりは後置される。

⑤' **die werfen** Supermärkte einfach **weg**.

★①ファルク バイアーは彼の懐中電灯で灰色のごみ容器の中を照らす。②それは零時少しすぎである。③ごみ袋と空き缶の間から彼はマンガーの入った袋を引っ張り出す。④マクデブルク出身のファルクは食料品を探す途上にある、⑤それら（食料品）をスーパーマーケットはいとも簡単に投げ捨てる。⑥そうしたことは「コンテナ漁をする」と呼ばれている。

4. 不定関係代名詞と関係副詞

4. 1. 不定関係代名詞

4. 1. 1. 人の場合

課題

(13)はドイツ連邦銀行に勤めながら、一人で父親を介護している人物に関するテキストの一部である。斜体の部分は下線部全体のなかでどのような役割を果たしているのだろうか。

(13) Der Beamte hat mit seinem Arbeitgeber eine Vereinbarung getroffen: Vier Tage in der Woche arbeitet er von zu Hause aus; einen Tag arbeitet er im Büro. Bei der Bundesbank spricht man in solchen Situationen von „sozialer Indikation“. Wer Kinder oder andere Angehörige betreuen will, kann - wenn es die Stelle erlaubt- von zu Hause aus arbeiten. (Vater und Sohn, S. 2)

解説

(13) ① Der Beamte hat mit seinem Arbeitgeber eine Vereinbarung getroffen: ② Vier Tage in der Woche arbeitet er von zu Hause aus; ③ einen Tag arbeitet er im Büro. ④ Bei der Bundesbank spricht man in solchen Situationen von „sozialer Indikation“. ⑤ Wer Kinder oder andere Angehörige betreuen **will**, ⑥ kann ⑦ -wenn es die Stelle erlaubt- ⑧ von zu Hause aus arbeiten.

下線部冒頭の Wer は不定関係代名詞 wer の 1 格 (2 格 wessen, 3 格 wem, 4 格 wen) である。wer は〈人〉に関して用いられ、先行詞をもたない。おおよその意味内容は〈およそ～である (する) 者は／が ～〉である。これは関係文 (⑤) の中では主語であると同時に、⑤は⑤, ⑥, ⑧全体の中で主語の役割を果たしている。⑤はいわば長い名詞のようなものであり、主文 (⑥, ⑧) の定動詞 kann がそれに続く二番目の位置に置かれている。

なお②の最後の aus は、〈前置詞と同形の分離前つづり〉のように見えるかもしれない。しかしこれは分離動詞の前つづりではなく、「von ... aus の形で、前置詞 von と結びつき、その意味を補足し明確化する」(大独和辞典, p.213) 副詞である。このことは、kann の本動詞の不定形が置かれる⑧の文末が ausarbeiten ではなく、arbeiten であることから理解されよう。

★①この公務員は彼の雇用者とある取り決めを行った：②週に四日彼は自宅から仕事をする；③一日は彼は事務所で働く。④連邦銀行では人々はこうした状況について「社会的適応」ということばを用いている。⑤子供ないしは彼の家族の世話を希望する者は、⑥できる。⑦-職場がそれを許す場合には-、⑧自宅から仕事をするのが。

課題

(14)は豚やてんとう虫などがなぜ幸福の象徴であるかについて述べたテキストの一部である。隣接する二ヶ所の下線部は、それぞれどのような関係にあるのだろうか。

(14) Das Schwein war immer schon wegen seiner Fruchtbarkeit und Stärke ein Symbol für Wohlstand und Reichtum. Denn eine Sau ferkelt statistisch 2,3-mal im Jahr und gebiert pro Jahr im Schnitt 23 rosige Kinder. Wer „Schwein hatte“, der hatte eben Glück. Und wenn die Sau gar zur Weihnachtszeit geferkelt hatte, dann konnte im neuen Jahr nichts schief gehen. So erklärt sich auch der Brauch, zu Neujahr sauber gewaschene Jungferkel in einem Korb herumzureichen. Wer das Ferkel berührt, dem steht ein gutes neues Jahr bevor. (Glücksboten, S. 1)

解説

(14)' ① Das Schwein war immer schon wegen seiner Fruchtbarkeit und Stärke ein Symbol für Wohlstand und Reichtum. ② Denn eine Sau ferkelt statistisch 2,3-mal im Jahr ③ und gebiert pro Jahr im Schnitt 23 rosige Kinder. ④ **Wer** „Schwein hatte“, ⑤ **der** hatte eben Glück. ⑥ Und wenn die Sau gar zur Weihnachtszeit geferkelt hatte, ⑦ dann konnte im neuen Jahr nichts schief gehen. ⑧ So erklärt sich auch der Brauch, ⑨ zu Neujahr sauber gewaschene Jungferkel in einem Korb herumzureichen. ⑩ **Wer** das Ferkel berührt, ⑪ **dem** steht ein gutes neues Jahr bevor.

④の Wer は不定関係代名詞 wer の 1 格であり、④の主語であると同時に、④は④と⑤全体の中で主語の役割を果たしている。⑤の冒頭の der は、男性の

指示代名詞の1格であり、先行する関係文④の**後行詞**（中山, p.178）である。これは⑤の主語であり、定動詞 hatte はその次位に置かれている。なおこのような指示代名詞の der（男性1格）と das（中性1・4格）は、この文では明示されているが、一般に省略されることが多い。

⑩の Wer も不定関係代名詞 wer の1格であり、⑩の主語である。同時に⑩は、⑩と⑪全体の中で主語の役割を果たしている。⑪の冒頭の dem は男性の指示代名詞である。これは関係文⑩の後行詞であり、定動詞 bevor|stehen の3格目的語である。

★①豚は常に昔からその多産性と肥満の故に幸福と富の象徴であった。②それというのは、一頭の雌豚は統計的に年に2, 3回出産する, ③そして一年に平均23頭の淡紅色の仔を生む。④「豚をもった」者は、⑤その者はまさしく幸運を手にしたのである⁽¹⁾。⑥そして雌豚が、それもしかもしもクリスマスの時に子豚を生んだ時には、⑦その時には、新しい年にうまくゆかないことは何もあり得ない（＝すべてがうまくゆく）のである。⑧そのようにして次の習俗も説明される、⑨新年に籠の中のきれいに洗われた子豚を手から手へと回すこと。⑩子豚を触る者は、⑪その者には良き新しい年が待っているのである。

4. 1. 2. 物・事の場合

課題

(15)はまだ食べられるにもかかわらず捨てられた食料品をごみ箱から集める人々たちについてのテキストの一部である。下線部全体の中で斜体の部分はどのような役割を担っているのだろうか。

(15) Sie essen, was andere wegschmeißen. So genannte Containerer durch-

suchen Mülltonnen von Supermärkten nach Lebensmitteln — und werden fündig. Meist reicht das Essen für mehrere Wochen. (Containerer)

解説

(15)' ① Sie essen, ② ***was andere wegschmeißen***. ③ So genannte Containerer durchsuchen Mülltonnen von Supermärkten nach Lebensmitteln — ④ und werden fündig. ⑤ Meist reicht das Essen für mehrere Wochen.

was は〈物・事〉に関して用いられる不定関係代名詞 was の 4 格（1 格 was, 2 格 なし, 3 格 なし, 4 格 was）であり, 55 頁に述べるような一部の場合を除いて, 先行詞をもたない。おおよその意味内容は, 〈おおよそ～する／である物／ことは／が～〉である。

②の was は wegschmeißen の 4 格目的語であると同時に, ②は主文 (①) の essen の 4 格目的語に相当する役割を果たしている。もし〈私はりんごを一つ食べる〉なら, Ich esse einen Apfel. と言うであろう。これに対して(15)では, einen Apfel という 4 格目的語の部分が, was に導かれる関係文になっていると思えばよい。

★①彼らは食べる, ②ほかの人たちが投げ捨てるものを。③いわゆるコンテナ漁師たちは食料品を求めてスーパーマーケットのごみ箱を搜索する－④そして見つけ出すのである。⑤たいてい食物は数週間分に達する。

課題

(16)はかつて投資銀行に勤務していた女性へのインタビューの一部である。下線部は互いにどのような関係にあるのだろうか。

(16) **SZ:** Gab es auch keine moralischen Grenzen? Die gesamte Weltgemeinschaft leidet jetzt unter dem, was die Finanzbranche verbochen hat.

Stcherbatcheff: Nein, es gab keine moralischen Bedenken. Als Händler musste man zwanzig, dreißig, manchmal vierzig Prozent Gewinn liefern. (Investmentbankerin, S. 4)

解説

(16)' **SZ:** ① Gab es auch keine moralischen Grenzen? ② Die gesamte Weltgemeinschaft leidet jetzt unter dem, ③ was die Finanzbranche verbochen hat.

Stcherbatcheff: ④ Nein, ⑤ es gab keine moralischen Bedenken. ⑥ Als Händler musste man zwanzig, dreißig, manchmal vierzig Prozent Gewinn liefern.

③の was は不定関係代名詞であり, verbochen (← verbrechen) の4格目の語である。②の dem は中性の指示代名詞 das の3格であり, ③の was の先行詞である。dem となっているのは, 前置詞 unter がこの場合3格支配だからである。

★南ドイツ新聞: ①倫理的な制約もなかったのですか。②全世界共同体が今やそのこと (③) の下で苦しんでいます, ③そのことを金融部門がしでかしました。

シエルパチェフ: ④いいえ, ⑤倫理的な疑念はありませんでした。⑥売買担当者として人々は20, 30, 時には40パーセントの利益を出さなければなりませんでした。

②+③ 金融部門がしでかしたことの下で全世界共同体が今や苦しんでいます。

課題

(17)は Abitur (大学入学資格試験) 合格後にガーナでボランティアを務めた若者の体験に関するテキストの一部である。下線部は互いにどのような関係にあるのだろうか。

(17) Ich sage immer, dass ich in Ghana am meisten über mein eigenes Land erfahren habe. Vieles, was hier selbstverständlich ist, ist gar nicht so selbstverständlich: Das können ganz banale Fragen sein, etwa ob es nötig ist, dass wir täglich Fleisch essen. (Nach dem Abi, S. 2)

解説

(17) ① Ich sage immer, ② dass ich in Ghana am meisten über mein eigenes Land erfahren habe. ③ Vieles, ④ was hier selbstverständlich **ist**, ⑤ ist gar nicht so selbstverständlich: ⑥ Das können ganz banale Fragen sein, ⑦ etwa ob es nötig ist, ⑧ dass wir täglich Fleisch essen.

④の was は③の Vieles を先行詞とする不定関係代名詞である。

不定関係代名詞 **wer** には先行詞がない。これに対して **was** は、(16)の②の **dem** や(17)の③の **vieles** (多くのもの) をはじめとして, **etwas** (何かあるもの), **nichts** (何もない), **manches** (かなり多くのもの), **alles** (すべてのもの), そして中性名詞化された形容詞, 特に **das Beste** (もっとも良いもの) のような最上級を中性名詞化した語などを先行詞とすることがある。名詞化については〈17. 形容詞の名詞化〉を参照されたい。

★①私はいつも言っています, ②私はガーナで最も多く自分自身の国について

知らされたと（＝私が自分の国についてもっとも多く学んだのはガーナにおいてである）。③多くのことが、④そのことはここではそんなにもあたりまえです、⑤少しもそんなにあたりまえではありません。⑥それは（⑦、⑧のような）まったく月並みな疑問でもありえます。⑦たとえばそれ（⑧）が必要であるかどうかという、⑧われわれが毎日肉を食べることが。

③＋④＋⑤ ここではそんなにもあたりまえである多くのことが、（ガーナでは）少しもあたりまえではありません。

課題

(18)は肉食の増大と飢餓の関係についてのテキストの一部である。下線部の中で、斜体の *was* はどのような役割をはたしているのだろうか。

(18) Zum anderen machen immer mehr Länder der Dritten Welt ökonomische Fortschritte, *was* höheren Fleischkonsum nach sich zieht. Trotzdem ist der Fleischkonsum auf bestimmte Länder und Kontinente konzentriert: [...] (Täglich Fleisch)

解説

(18)' ① Zum anderen machen immer mehr Länder der Dritten Welt ökonomische Fortschritte, ② *was* höheren Fleischkonsum nach sich **zieht.** ③ Trotzdem ist der Fleischkonsum auf bestimmte Länder und Kontinente konzentriert: [...]

この場合の *was* は②の主語であり、①に述べられていること全体を指している。不定関係代名詞 *was* はこのように、前の文意全体を指すこともある。

★①他方で第三世界のますます多くの国々が経済的に発展する、②このことは肉の消費を引き寄せる。③それにもかかわらず肉の消費は特定の国々と大陸に集中している：[…]

4. 2. 関係副詞

4. 2. 1. 場所の場合

課題

(19)はベルリンの壁が崩壊した時の体験に関するあるジャーナリストへのインタビューの一部である。下線部は互いにどのような関係にあるのだろうか。

(19) Ganz persönlich habe ich die Öffnung der Mauer am Brandenburger Tor gegen Mitternacht am 20. Dezember 1989 miterlebt und besitze heute noch ein Stück Mauer mit weißer Oberfläche: also von der Ostseite, wo keine Graffiti aufgesprüht wurden. (Mauerfall, S. 2)

解説

(19)' ① Ganz persönlich habe ich die Öffnung der Mauer am Brandenburger Tor gegen Mitternacht am 20. Dezember 1989 miterlebt ② und besitze heute noch ein Stück Mauer mit weißer Oberfläche: ③ also von **der Ostseite**, ④ **wo** keine Graffiti aufgesprüht **wurden**.

④の wo は〈場所〉を先行詞とする関係副詞であり、③の der Ostseite がそれである。wo に代えて次のように関係代名詞を用いることもできる。

③' + ④' also von **der Ostseite, auf der** keine Graffiti aufgesprüht **wurden**.

★①全く個人的に、私は1989年12月20の真夜中ころにブランデンブルク門のところで壁の開放を共に体験しました、②そして今日もなお白い表面の壁の一かけらを持っています：③すなわち東側の、④そこには落書きが吹きつけられませんでした⁽²⁾。

4. 2. 2. 時間の場合

なお次のように、関係副詞の wo は〈時〉を先行詞とする場合もある。

(20) Es kommt noch **der Tag, wo(=an dem)** er mich **braucht**.

いつか彼が私を必要とする日が来る。(中山, p.180 太字筆者)

註(1) 〈Schwein haben〉とは〈幸運である〉ことを意味する慣用句である。

(2) ベルリンの壁は東ドイツ側では落書きどころか、一般人は接近することすらできなかった。

5. 事実と非現実

課題

(21)はかつて投資銀行に勤務していた女性へのインタビューの一部である。下線部 1) と 2) は意味内容的に互いにどのように異なるのだろうか。

(21) **SZ:** Verändert die Krise das Denken der Banker?

Stcherbatcheff: [...] Klar ist: Die City ist nicht fähig, sich selbst zu regulieren. Aber die Banker haben erkannt₁₎ dass so etwas wie die Krise immer wieder passieren könnte₂₎. Sie gehen mit ihrem Bonus-Zahlungen nicht mehr so hemmungslos um. (Investmentbankerein, S. 4)

解説

(21)' **SZ:** ① Verändert die Krise das Denken der Banker?

Stcherbatcheff: [...] ② Klar ist: ③ Die City ist nicht fähig, ④ sich selbst zu regulieren. ⑤ Aber die Banker **haben** erkannt¹⁾, ⑥ dass so etwas wie die Krise immer wieder passieren könnte²⁾. ⑦ Sie gehen mit ihrem Bonus-Zahlungen nicht mehr so hemmungslos um.

1) の定動詞 haben は直接法である。したがって haben erkannt が表すのは〈認識した〉という事実である。これに対して 2) の定動詞 könnte は接続法Ⅱ式である。そこで passieren könnte によって表されているのは、〈起こるかもしれない〉という非現実の想定である。

★南ドイツ新聞：①金融危機は銀行の人々の思考を変えていますか。

シェルバチェフ：[...] ②明らかであるのは③, ④のことです：③シティーは能力がありません, ④自らを規制するという。⑤しかし銀行の人々は認識しました, ⑥今回の金融危機のようなことが繰り返し起こるかもしれないということを。⑦彼らはボーナスの支払いをもはや好き勝手に行うことはありません。

5. 1. 非現実話法

日本語ではともすれば曖昧となりがちな〈事実〉と〈非現実〉を、ドイツ語は動詞の形によって明確に区別する。事実を表す文の定動詞には直説法を用いる。これに対して、非現実的仮定の上で前提や帰結を述べる用法は〈非現実話法〉と呼ばれ、接続法Ⅱ式が使用される。

そこで〈時間があれば、映画を見に行く〉という日本語をドイツ語にすると、

次の二つの表現が可能である（清野, p. 126, 太字と〈直説法〉, 〈接続法Ⅱ式〉の加筆は筆者）。

- (22) Wenn ich Zeit **habe, gehe** ich ins Kino.

直説法 直説法

私は時間があれば, 映画を観に行きます。

- (22)' Wenn ich Zeit **hätte, würde** ich ins Kino **gehen**.

接続法Ⅱ式 「———接続法Ⅱ式———」

もし時間があるなら, 映画を観に行くのになあ。

両者の違いについて清野は次のように述べている。

直説法の Wenn ich Zeit habe は単なる条件です。つまり「私は時間があれば」という条件が満たされれば, 「映画に行く」ことが起こるのです。それ以上でも以下でもありません。ところが, Wenn ich Zeit hätte と言うと, 「時間がある」ということが現実ではないことを同時に表しているのです。「私は時間がない」が, あえて「時間があると仮定する」と「映画に行く (のになあ)」という想定を表現します (清野, p. 126 太字筆者)。

5. 2. よく使われる接続法Ⅱ式

テキストの中で出会うことが多い接続法Ⅱ式の基本形は次のとおりである。

5. 2. 1. sein / werden / haben

不定形 接続法Ⅱ式の基本形

sein → **wäre**

werden	→	würde
haben	→	hätte

5. 2. 2. 話法の助動詞

不定形 接続法Ⅱ式の基本形

können	→	könnte
müssen	→	müsste
sollen	→	sollte
wollen	→	wollte
dürfen	→	dürfte
mögen	→	möchte

5. 2. 3. 一般の動詞

近年特に話しことばでは、接続法は werden の接続法Ⅱ式である würde と不定形の組み合わせで表現されることが多い。(22)'の結論部がこれである。また規則動詞の接続法Ⅱ式は直説法と同形になることから、〈würde + 不定形〉によって代替されることもある。しかしテキストを読むに際しては、käme (← kommen), ginge (← gehen) のような〈本来の接続法Ⅱ式〉と遭遇することも少なくない。一方、これがよく使われる語はある程度限られている。そこで読むという立場からは、辞書の巻末の一覧表をすべて暗記する必要はなく、テキストの中でよく出会うものを覚えてゆくことを勧める。

したがって、5.2.1 と 5.2.2, 5.2.3 に挙げた語形が出てくれば、そこでは何らかの仮定的前提、あるいは結論が述べられている可能性が高い。ただし、〈6. 著者のことばと引用〉のところで述べるように、間接話法である可能性もある。どちらであるかは、話の内容、前後関係などから判断する必要がある。

5. 3. 過去の非現実的な仮定・結論の表現

課題

(23)は発展途上国の繊維産業における劣悪な労働条件と公正な取引に関するインタビューの一部である。下線部 1) と 2), 3) は意味内容的に互いにどのように異なるのだろうか。

(23) **Wie vertrauenswürdig sind die Überprüfungen der Hersteller, die westliche Unternehmen zuweilen durchführen lassen?**

Es gibt viele Probleme bei diesen Audits, die übrigens für die durchführenden Gesellschaften ein Riesengeschäft sind. Prüfer werden auch bestochen oder betrogen.

Konkret?

Beispielsweise durch doppelte Buchhaltung. Dann wird bescheinigt, dass die Arbeiterin höchstens 60 Stunden pro Woche gearbeitet hätte₁₎, obwohl es tatsächlich 100 Stunden waren₂₎. Es kann auch behauptet werden, dass keine Kinder in dem Betrieb arbeiten würden₃₎. Tatsächlich sind sie dann nur am Tag der Überprüfung nicht da. Wenn Prüfer unangemeldet erscheinen, verschwinden sie schnell. (Bangladesch, S. 2)

解説

(23) ① **Wie vertrauenswürdig sind die Überprüfungen der Hersteller, ② die westliche Unternehmen zuweilen durchführen lassen?**

③ Es gibt viele Probleme bei diesen Audits, ④ die übrigens für die durchführenden Gesellschaften ein Riesengeschäft sind. ⑤ Prüfer werden auch bestochen oder betrogen.

⑥ Konkret?

⑦ Beispielsweise durch doppelte Buchhaltung. ⑧ Dann wird bescheinigt, ⑨ dass die Arbeiterin höchstens 60 Stunden pro Woche **gearbeitet hätte**¹⁾, ⑩ obwohl es tatsächlich 100 Stunden **waren**²⁾. ⑪ Es kann auch behauptet werden, ⑫ dass keine Kinder in dem Betrieb **arbeiten würden**³⁾. ⑬ Tatsächlich sind sie dann nur am Tag der Überprüfung nicht da. ⑭ Wenn Prüfer unangemeldet erscheinen, ⑮ verschwinden sie schnell.

1) の hätte は接続法Ⅱ式であり、過去分詞の gearbeitet と共に現在完了形を形成している。これは⑨の内容が事実ではなく、かつまた過去のことだからである。2) は⑩の内容が〈事実〉であることから直接法が使用されている。これに対して3) もまた〈虚偽〉である。しかし arbeiten の接続法Ⅱ式である arbeiteten は直接法と同形となる。そこで würde + 不定形による言い換えが用いられている。

接続法に〈過去形〉は存在しない。そこで、〈あの時に ～ であつたら、～ だっただろうに〉のように、過去についての非現実的な想定を接続法Ⅱ式で表現するときには、現在完了形を利用する。すなわち、完了の助動詞である haben / sein を接続法Ⅱ式にし、これに過去分詞を組み合わせる。

②4) Wenn ich genug Geld **hätte**, **würde** ich nach Italien **fahren**.

接続法Ⅱ式

「———接続法Ⅱ式———」

もし私に十分にお金があれば、イタリアへ行くだらう。

(25)′ Wenn ich damals genug Geld **gehabt hätte**, **wäre** ich nach Italien **gefahren**.

接続法Ⅱ式による現在完了形 「——接続法Ⅱ式による現在完了形——」

もし私に当時十分にお金があったら、イタリアへ行っていただろう。

★①どの程度信頼がおけるのですか、製造者に対する検査は、②それを西洋の企業が時折実施させています。

③この監査には多くの問題があります、④それはちなみにそれを行う会社にとっては巨大な商売です。⑤検査員は買収されたりだまされたりもします。

⑥具体的には？

⑦たとえば二重帳簿によってです。⑧それに際して証明されます、⑨女性労働者が最高で週に 60 時間働いたと、⑩それは実際には 100 時間であったにもかかわらず。⑪次 (⑫) のような主張がなされることもあります、⑫子供は企業の中で働いていないとの。⑬実際には彼らは検査の日だけそこにはいないのです。⑭検査員が予告なしに現れると、⑮彼らはすばやく消えてしまいます。

6. 著者のことばと引用

6. 1. 直接話法と間接話法

課題

(26)はアメリカ合衆国における飢えの問題について述べたテキストの一部である。どの部分が引用であろうか⁽¹⁾。

(26) Es ist eine der reichsten Industrienationen der Welt, doch immer mehr Menschen in den USA hungern: [...] Das geht aus einer Studie des

US-Landwirtschaftsministeriums hervor. [...]

Die Betroffenen hätten für einen aktiven und gesunden Lebensstil nicht genug zu essen, hieß es. [...] Landwirtschaftsminister Tom Vilsack sagte, die Zahlen dürften in diesem Jahr wegen der Wirtschaftskrise noch weiter gestiegen sein. Amerika müsse sich jetzt ernsthaft um dieses Problem kümmern.

Präsident Barack Obama nannte die Ergebnisse der Studie beunruhigend. Auch andere Indikatoren wie der Anstieg der Anträge für Essensmarken und die wachsende Nachfrage nach Lebensmittelhilfe zeigten, dass immer mehr Menschen hungerten. Die wichtigste Aufgabe sei es nun, mehr Arbeitsplätze zu schaffen, hieß es in einer Erklärung des US-Präsidenten. (Armut)

解説

(26) ① **Es ist eine der reichsten Industrienationen der Welt,** ② **doch immer mehr Menschen in den USA hungern:** [...] ③ **Das geht aus einer Studie des US-Landwirtschaftsministeriums hervor.** [...]

④ Die Betroffenen **hätten** für einen aktiven und gesunden Lebensstil nicht genug zu essen, ⑤ hieß es. [...] ⑥ Landwirtschaftsminister Tom Vilsack sagte, ⑦ die Zahlen **dürften** in diesem Jahr wegen der Wirtschaftskrise noch weiter gestiegen sein. ⑧ Amerika **müsse** sich jetzt ernsthaft um dieses Problem kümmern.

⑨ Präsident Barack Obama nannte die Ergebnisse der Studie beunruhigend. ⑩ Auch andere Indikatoren wie der Anstieg der Anträge für Essensmarken und die wachsende Nachfrage nach Lebensmittelhilfe **zeigten**, ⑪ dass immer mehr Menschen **hungerten**. ⑫ Die wichtigste Aufgabe **sei** es nun, ⑬ mehr Arbeitsplätze zu schaffen, ⑭ hieß es in einer Erklärung des US-Präsidenten.

〈Er sagt, „ich fahre morgen nach Berlin.“ (彼は言う, 「私は明日ベルリンへ行く」)〉のように, 他者の発言や意見などを引用符〈„, “〉に入れて, そのまま引用する場合を〈直接話法〉という。直接話法では定動詞に直説法が用いられる。

これに対して, 話し手や書き手が他者の発言を自分の立場から間接的に引用して述べる方法は〈間接話法〉と呼ばれる。間接話法でも日常の話しことばでは直説法が用いられることが多い。しかしニュースなどの改まった話しことばや書きことばでは, 間接話法の定動詞には原則として接続法Ⅰ式を用い, Ⅰ式が直説法と同形の場合はⅡ式を用いる⁽²⁾。

(26)では直接話法は用いられておらず, 引用はすべて間接話法によっている。

まず④である。この部分は農業省の研究の要約的引用である。主語(Die Betroffenen)が三人称複数なので, 定動詞は接続法Ⅰ式のhabenとなるはずである。しかしこれは直説法と同形のため, 接続法Ⅱ式のhättenが用いられている。

次に農業大臣の発言を引用する⑦である。この場合も主語(die Zahlen)が三人称複数形であることから, その接続法Ⅰ式dürfenは直説法と重なる。しかしこのdürftenは接続法Ⅰ式の言い換えというよりも, 話し手の推定を婉曲に伝える, 〈外交話法(婉曲話法)〉と呼ばれる接続法Ⅱ式の用法であると考えられる(中山, pp. 221-222)。

⑧も農業大臣の見解の引用であり, 定動詞のmüsseは接続法Ⅰ式である。

⑩と⑪のzeigten, hungertenは直説法過去のように見える。しかし内容から考えて, この部分は食料困窮者の増加に対するオバマ大統領の見解の引用であると解釈される。規則動詞の接続法Ⅱ式は, このように直接法と同形になるので, 内容面からの判断も不可欠である。

⑫は大統領の声明の引用であることから、sei という接続法 I 式が用いられている。これに対して⑭の hieß は⑨～⑭の引用を紹介するに際しての記者のことばであることから、直説法が使用されている。

★①それは世界のきわめて豊かな産業諸国の一つである、②しかしアメリカ合衆国の中でますます多くの人たちが飢えている：[…] ③このことが合衆国農業省のある研究から明らかになっている。[…]

④これに該当する人々は活動的で健康な生活様式に対して食べるものを十分にもたないとの、⑤(③の研究の中で) ことであった。[…] ⑥農業大臣のトム ヴィルサックは述べた、⑦その数は今年度中に、経済危機によっておそらくさらに上昇するであろうと。⑧アメリカは今や真剣にこの問題に配慮しなければならないと。

⑨バラク オバマ大統領はこの研究の結果について憂慮していると述べた。

⑩他の指標もまた、食料補助券に対する申請の増加と食料支援の需要増大のような、示していると、⑪ますます多くの人たちが飢えていることを。⑫最も重要な課題は現在⑬であると、⑬さらに多くの雇用を作り出すこと、⑭そのように述べられている、合衆国大統領の声明において。

引用である以上、その近辺には sagen (言う), meinen (～という意見である), mit|teilen (伝える), berichten (報ずる), bekant|geben (公表する), denken (考える) などのことばがあるはずである。これらを手掛かりとして引用箇所を見きわめることも可能である。

その一方でテキストを読むという観点からは、接続法と直説法の形態上の違いは引用箇所を把握する重要な手掛かりとなる。情報の真偽の判定には「二線、三線での交叉点を求める式の取り組み」(堀, p.51) が必要である。こうしたことを考えるならば、接続法 I・II 式に習熟することは、事実と非現実の区別

とともに、〈地の文〉と引用部分の識別を容易かつ確実にするという点でも見返りは大きい。

6.2. 接続法Ⅰ式と三人称

書きことばで間接話法がもっぱら用いられるのは〈彼は～とのことである〉、〈彼女の見解は～とのことである〉のように、主語が三人称の場合である。その理由は次のとおりである。

「彼は、私は……だと言った」とか「彼は、あなたは〔君は〕……だと言った」などという文は、日常口語ならともかく、新聞や小説などの書きことばの引用文としてはほとんどありえないからです。（関口一郎, p.278）

6.3. でも述べるように、三人称複数の場合には一般に接続法Ⅱ式が用いられる。したがって引用箇所を見分けるという観点から重要なのは、接続法Ⅰ式の三人称単数形と接続法Ⅱ式の三人称複数形がそれと即座に認識できることである。前者は *er verdiene* と *er liege* のように、直説法との人称語尾の際立った違いがよい手掛かりとなろう。特に *sein*, *werden*, *haben* と話法の助動詞は使用頻度が高いので、その形をよく覚えておくとう便利である。

6.3. 接続法Ⅱ式の使用

接続法Ⅰ式の三人称複数形は、*sein* が *seien* となる以外は直説法の三人称複数形と同形であり、識別が困難である。そこで三人称複数では通常は接続法Ⅱ式を使用する

6. 3. 1. sein / werden / haben

		接続法 I 式		接続法 II 式
		三人称単数／三人称複数		三人称複数
sein	→	sei	seien	wären
werden	→	werde	werden	würden
haben	→	habe	haben	hätten

6. 3. 2. 話法の助動詞

		接続法 I 式		接続法 II 式
		三人称単数／三人称複数		三人称複数
können	→	könne	können	könnten
müssen	→	müsse	müssen	müssten
sollen	→	solle	sollen	sollten
wollen	→	wolle	wollen	wollten
dürfen	→	dürfe	dürfen	dürften
mögen	→	möge	mögen	möchten

6. 3. 3. 一般の動詞

一例を挙げる。接続法 II 式は 61 頁の 5.2.3 も参照のこと。

☆規則動詞（弱変化動詞）

		接続法 I 式		接続法 II 式
		三人称単数	三人称複数	三人称複数
leben	→	lebe	leben	lebten (würden + leben)

☆不規則動詞（強変化動詞・混合変化動詞）

		接続法Ⅰ式		接続法Ⅱ式
		三人称単数	三人称複数	三人称複数
gehen	→	gehe	gehen	gingen (würden + gehen)
kommen	→	komme	kommen	kämen (würden + kommen)

また三人称単数でも、くだけた調子や話しことば的なテキストの場合、接続法Ⅱ式が用いられることもある。

(27) ① Er sagt, ② *er* **habe** / **hätte** ein tolles Auto.

接続法Ⅰ式 接続法Ⅱ式

①彼は言う、②彼はすごい車を持っているんだと。

6. 4. 過去のことの引用

63 頁でも述べたように、接続法に〈過去形〉は存在しない。そこで接続法Ⅰ式の場合も、過去のことを述べる時には、現在完了形を利用する。すなわち、完了の助動詞である haben / sein を接続法Ⅰ式ないしはⅡ式にし（三人称単数は habe / sei, 複数は hätten / seien）、これに過去分詞を組み合わせる。

課題

(28)はドイツにおける離婚に関するテキストの一部である。どの部分が接続法による表現であろうか。

(28) Das Statistisches Bundesamt in Wiesbaden teilte am Dienstag mit, die Zahl der Scheidungen habe im Vergleich zu 1997 um 2,5 Prozent auf 192 438 zugenommen. [...] Weniger Scheidungen habe es in Berlin, Bremen, Ham-

burg, Hessen und dem Saarland gegeben. Hingegen sei die Rate in den ostdeutschen Bundesländern deutlich gestiegen. In Sachsen-Anhalt nahm die Zahl der Scheidungen um 17,4 Prozent zu, in Sachsen und Thüringen jeweils um 10,2 Prozent. (Ehescheidung)

解説

(28) ① Das Statistisches Bundesamt in Wiesbaden teilte am Dienstag mit, ② die Zahl der Scheidungen **habe** im Vergleich zu 1997 um 2,5 Prozent auf 192 438 **zugenommen**. [...] ③ Weniger Scheidungen **habe** es in Berlin, Bremen, Hamburg, Hessen und dem Saarland **gegeben**. ④ Hingegen **sei** die Rate in den ostdeutschen Bundesländern deutlich **gestiegen**. ⑤ In Sachsen-Anhalt nahm die Zahl der Scheidungen um 17,4 Prozent zu, ⑥ in Sachsen und Thüringen jeweils um 10,2 Prozent.

①と⑤は著者のことばであることから、定動詞は *teilte* ～ *mit*, *nahm* ～ *zu* と直説法が用いられている。これに対して②, ③, ④はいずれも過去に起きたことに関する連邦統計局の発表の引用である。そこで各定動詞は *habe*, *habe*, *sei* と接続法 I 式であり、これに *zugenommen*, *gegeben*, *gestiegen* という過去分詞が組み合わせられて現在完了形となっている。

★①ヴィーズバーデンの連邦統計局は火曜日に報じた、②離婚の数が1997年と比較して2.5%増加し、192438となったと。[...] ③離婚件数が減少したのは、ベルリン、ブレーメン、ハンブルク、ヘッセンとザールラントにおいてであったと。④これとは逆に東部ドイツの諸州における離婚率は明らかに上昇したと。⑤ザクセン-アンハルトでは離婚の数は17.4%増加した、⑥ザクセンとテューリンゲンではそれぞれ10.2% (増加した)。

- 註(1) 原文では⑦の dürfen は〈dürfte〉と表記されている。しかし主語が die Zahlen と三人称複数であることから、これは明らかに誤記と判断される。そこでこの dürfte は dürfen に書き改めた。
- (2) 引用に際して直説法、接続法Ⅰ式、接続法Ⅱ式のいずれを使うかによる内容的差異については〈清野, pp. 124-125〉を参照されたい。

7. sollen と〈～すべきである〉

課題

(29)は映画の中で、話し手が引鉄に指をかけた拳銃を相手の頭に突き付けて発したせりふだと思ってもらいたい。これで何が言いたいのであろうか。日本語の字幕を考えてみてほしい。

(29) „Du sollst sterben.“

解説

sollen が出てくると、〈何とかの一つ覚え〉のように〈～すべきである〉とする学生諸君が多い。(29)も直訳すれば〈お前は死ぬべきだ〉となろうが、翻訳くさいうえに、切迫した状況に対して何とも間が抜けていないだろうか。そしてそもそもこれで発話の意味するところが理解できるだろうか。

こうした場合に備えて必要なのは、〈sollen = べきである〉という訳語ではなく、sollen の意味するところの構造的な理解である。それは「sollen は『主語以外のものの主語に対する意志』を表す」(清野, p. 114), 「sollen の裏には主語の意志にはかわりなく、誰か別の人の wollen (意志) が働いている」(関口一郎, P. 135) ということである。

sollen を〈～すべきである〉としたのでは何を言っているのか今一つよく分からない場合には、上に述べた wollen との関係図式の中で考えてみることを勧める。

以上のことから、上のせりふが意味するのは、„Ich will dich umbringen.“ (お前を殺すぞ!) という話し手の意志である。こうした内容を、話し手の意志が向けられる対象 (du) を主語にして表現したのが „Du sollst sterben.“ である。字幕にするならば「死ね!」とでもなろうか。

課題

(30)は腹部を露出する装いに関するインタビューの一部である。Sybille は下線部で何が言いたいのであろうか。

(30) Sybille W. (Angestellte, 55 Jahre): „Ach, das ist mir ziemlich egal. Das ist doch jedem selbst überlassen, wie er sich anzieht. Ich würde so etwas zwar nicht tragen, aber wer kann und will, der soll es doch auch machen. Ich finde das immer komisch, dass da soviel drumherum palavert wird.“ (bauchfrei, S. 1)

解説

(30)' Sybille W. (Angestellte, 55 Jahre): ① „Ach, das ist mir ziemlich egal. ② Das ist doch jedem selbst überlassen, ③ wie er sich anzieht. ④ Ich würde so etwas zwar nicht tragen, ⑤ aber wer kann ⑥ und will, ⑦ der soll es doch auch machen. ⑧ Ich finde das immer komisch, ⑨ dass da soviel drumherum palavert wird.“

この場合も sollen が意味するのは、〈当人が好きなようにせよ〉という話し手の意志である。なお⑨は定動詞 wird と palavert という過去分詞から形成される動作受動態である。しかしこの文には主語が存在しない。ドイツ語には少

数ではあるが、このような主語のない型の受動態が存在する。soviel が一見主語のようにも見えるが、語頭の s が小文字で表記されているように、これは副詞であり、主語ではない。

★ズビレ W. (会社員, 55 歳): 「①ああ、それは私にはかなりどうでもよいことです。②そうしたことはだって各自に任されているでしょ、③どのように装うかは。④私はそうしたものはたしかに着ないでしょう、⑤しかしそれができる人は、⑥そして希望する人は、⑦その人は望むようにしてもよいのです。⑧私は (⑨のことが) いつも変だと思います、⑨それについて延々とああだこうだとおしゃべりされることが。」

課題

(31)はポルトガルからスイスに来て清掃の仕事をしている女性に関するテキストの一部である。著者は下線部で何が言いたいのであろうか。またこの文の主語を他の語に変えて表現するとどうなるであろうか。

(31) Zur Zeit besteht ihr Leben aus arbeiten und nach Hause kommen. In der Zukunft soll sich das ändern: «Ich möchte Kinder, aber nicht nur Hausfrau sein. Mein Ziel ist es, dass ich hier die Ausbildung machen kann, die ich in Portugal begonnen habe. [...]» (Arbeitnehmer, S. 2)

解説

(31)' ① Zur Zeit besteht ihr Leben aus arbeiten und nach Hause kommen. ② In der Zukunft soll sich das ändern: ③ «Ich möchte Kinder, ④ aber nicht nur Hausfrau sein. ⑤ Mein Ziel ist es, ⑥ dass ich hier die Ausbildung machen kann, ⑦ die ich in Portugal begonnen habe. [...]»

下線部の主語である指示代名詞 *das* が指しているのは①の内容である。そこで下線部が表しているのは、字義どおりには〈仕事と自宅を往復する毎日が将来変わるように〉ということである。しかし *sollen* によって間接的に示されているように、その背後にはこの女性の意志が控えている。さらに〈子どもがほしい、専業主婦ではありたくない〉といった彼女の願望も考慮するならば、この文で著者が伝えたいのは、〈*In der Zukunft will sie das ändern.* (彼女はこれを変えたい／変えるつもりである)〉ということである。

★①目下のところ彼女の生活は働くことと帰宅することから成り立っている。

②将来においてそれが変わってほしい (= 彼女はそれを変えたい) : ③ «私は子供がほしいのです, ④しかし単に主婦でありたくはありません。⑤私の目標はそれ (⑥, ⑦) です, ⑥私がここで教育を受けられること, ⑦それ (教育) を私はポルトガルで始めました。[…]»

8. *da* + 前置詞と *wo* + 前置詞

8.1. *da* + 前置詞

課題

(32)は2011年3月の大地震直後に東京所在のスイス人報道記者に対して行われたインタビューの一部である。下線部の *davor* とは具体的にはどのようなことであろうか。(斜体は原文では太字)

(32) *Wie geht die Bevölkerung in Tokio mit der potentiellen Strahlenbelastung um?*

Ich glaube, die Bevölkerung hat schon etwas Angst davor. Aber alle nehmen

es gelassen. Noch sind die Strahlungsmengen nicht so hoch, dass man sich wirklich Angst machen sollte. (Schweizer, S. 1)

解説

(32)' ① *Wie geht die Bevölkerung in Tokio mit **der potentiellen Strahlenbelastung** um?*

② Ich glaube, ③ die Bevölkerung hat schon etwas Angst **davor**. ④ Aber alle nehmen es gelassen. ⑤ Noch sind die Strahlungsmengen nicht so hoch, ⑥ dass man sich wirklich Angst machen sollte.

davor は da と vor から構成されている。da は①の der potentielle Strahlenbelastung を指しており、vor は前置詞である。名詞の繰り返しをいとわなければ、③は次のようにも表現できる。

③' die Bevölkerung hat schon etwas Angst **vor der potentiellen Strahlenbelastung**.

davor をはじめ、damit, davon などのように前置詞の前に da を付けたことばがよく使われる。このような da の第一の用法は、前に出てきた（人間以外の）物や事を指すことである。

★①東京の住民は潜在的な放射線の負荷にどのように対応していますか。

②私は思います、③人々はもちろん少しそれに不安を持っていると。④しかしみんなそれを冷静に受け止めています。⑤まだ放射線量はそれ（⑥）ほど高くありません、⑥人々がほんとうに不安を抱く必要があるほど。

課題

(33)はインターネットによる交際相手探しに関するインタビューの一部である。下線部の dazu は具体的には何を指しているのだろうか。

(33) NZZ: Sie sind skeptisch?

HG: Ich könnte mir vorstellen, dass die neuen Möglichkeiten dazu führen, dass jede Risikobereitschaft verloren geht. Ein Mann sagt sich: Wieso soll ich mir das Risiko antun, im realen Leben einen Korb von einer Frau zu bekommen, wenn ich mir im Internet aus der Deckung heraus Kontakte knüpfen kann. (Partnersuche, S. 1)

NZZ: Neue Zürcher Zeitung HG: Professor Hans Greser an der Universität Zürich

解説

(33)' NZZ: ① Sie sind skeptisch?

HG: ② Ich könnte mir vorstellen, ③ dass die neuen Möglichkeiten dazu führen, ④ **dass jede Risikobereitschaft verloren geht.** ⑤ Ein Mann sagt sich: ⑥ Wieso soll ich mir das Risiko antun, ⑦ im realen Leben einen Korb von einer Frau zu bekommen, ⑧ wenn ich mir im Internet aus der Deckung heraus Kontakte knüpfen kann.

この場合の *da* は④の *dass* に導かれる従属文を指している。もし〈～が目標に至る〉であるならば、〈～ führt zum Ziel〉と言うであろう。しかし至る先が〈Ziel〉という名詞ではなく、*dass* に導かれる副文であるため、*da* が前置詞 *zu* と共にその相関語となっている。このような *da* は *dass* 以外にも、*ob*, *wie* に導かれる従属文を指すことがある。

なお⑦の zu 不定句は⑥の das Risiko の中身を表している。

★新チューリヒ新聞：①あなたは懐疑的なのですね。

ハンス グレーザー：②私は（③のことが）想像できるかもしれませんが、③この新しい可能性が④へと至ることを、④危険に対するあらゆる覚悟が失われてゆくこと。⑤ある男性は自分に言います：⑥なぜ私に危険を冒せと言うのか、⑦現実の生活のなかで女性から拒絶されるという、⑧私がインターネットの中で掩体の陰から関係を取り結ぶことができる時に。

③+④ この新しい可能性が、危険に対するあらゆる覚悟の喪失へと至ることを。

⑥+⑦+⑧ インターネットによって掩体に守られて関係を取り結ぶことができるというのに、現実世界の中で女性から拒絶される危険をなぜ私に冒せというのか。

課題

③4はまだ食べられるにもかかわらず捨てられた食料品をごみ箱から集める人々についてのテキストの一部である。下線部の da は具体的には何を指しているのだろうか。

③4) Nachts fährt Falk mit Freunden von Supermarkt zu Supermarkt. Meist schaffen sie es in einer Nacht, Lebensmittel für mehrere Wochen einzusammeln. Falk containert, weil er etwas gegen die Wegwerfmentalität tun will. Vor zwei Jahren begann er damit, sich seine Lebensmittel fast nur aus der Mülltonne zu holen. (Containerer)

解説

(34) ① Nachts fährt Falk mit Freunden von Supermarkt zu Supermarkt. ② Meist schaffen sie es in einer Nacht, ③ Lebensmittel für mehrere Wochen einzusammeln. ④ Falk containert, ⑤ weil er etwas gegen die Wegwerfmentalität tun will. ⑥ Vor zwei Jahren begann er damit, ⑦ **sich seine Lebensmittel fast nur aus der Mülltonne zu holen.**

後続の従属文を指す(33)の da と同様にして、この場合の da が指しているのは⑦の zu 不定句である。このように **da は後続の zu 不定句を指すことがある。**

★①夜中にファルクは友人たちとスーパーマーケットからスーパーマーケットへと移動する。②たいてい彼らはそれを一夜でなしとげる、③数週間分の食料品を集めることを。④ファルクはコンテナ漁をする、⑤なぜならば彼は何でも簡単に投げ捨てる心性に抗して何かしたいからである。⑥二年前に彼は(⑦のことを)始めた、⑦自分のために食料品をほとんどごみ箱だけから取ってくることを。

課題

(35)はベルリンの壁が崩壊した時の体験に関するあるジャーナリストへのインタビューの一部である。下線部の da は何を指しているのだろうか。

(35) Ich war glücklich, dass ich 1991 zu den „Tagesthemen“ wechseln durfte. Damit war ich dort, wo es für einen deutschen Journalisten am spannendsten war: in der wiedervereinigten Heimat. (Mauerfall, S.1)

解説

(35) ① Ich war glücklich, ② **dass ich 1991 zu den „Tagesthemen“ wechseln durfte**. ③ Damit war ich dort, ④ wo es für einen deutschen Journalisten am spannendsten war: ⑤ in der wiedervereinigten Heimat.

この場合の da が指すのは、②の内容全体である。da + 前置詞の da はこのように、前に述べたことの全体ないしは一部を指すこともある。

★①私は幸運でした、②1991年に「ターゲステーマン」というニュース番組に移ることを許されたことが。③このことによって私はそこにいました（行きました）、④そこはドイツのジャーナリストにとってもっともわくわくするところでした：⑤再統一した故郷（祖国）の中という。

③+④+⑤ このことによって私はドイツのジャーナリストにとってもっともわくわくする場所である再統一した祖国という場所に行ったのです。

8. 2. wo + 前置詞

課題

(36) はかつて投資銀行に勤務していた女性へのインタビューの一部である。下線部の wovon とは何を意味するのであろうか

(36) **SZ:** Wie armselig.

Stcherbatcheff: So ist es halt. Nun ja, für so manchen endete das Machotum schrecklich. Ich ging mal mit einem Manager von Lehman Brothers aus. Der hatte das, wovon alle träumten: ein Haus in London, eines in Südfrankreich, mehrere Luxusautos. Aber er hatte etwa 17 Millionen Pfund in Lehman-

Papieren investiert. Er hat alles verloren. Heute fühlt er sich als gebrochener Mann. (Investmentbankerin, S. 3)

解説

(39)' **SZ:** ① Wie armselig.

Stcherbatcheff: ② So ist es halt. ③ Nun ja, ④ für so manchen endete das Machotum schrecklich. ⑤ Ich ging mal mit einem Manager von Lehman Brothers aus. ⑥ Der hatte **das**, ⑦ wovon alle träumten: ⑧ ein Haus in London, eines in Südfrankreich, mehrere Luxusautos. ⑨ Aber er hatte etwa 17 Millionen Pfund in Lehman-Papieren investiert. ⑩ Er hat alles verloren. ⑪ Heute fühlt er sich als gebrochener Mann.

上の wovon をはじめ, womit, wofür などのように前置詞の前に wo を付けて使われることがある。こうした場合の wo は was の言い換えであり, ⑦の wo は不定関係代名詞の was である。⑥の指示代名詞 das はその先行詞であり, 具体的には⑧を指している。この wovon の意味するところは, おおよそ〈それについて／関して〉である。

なお⑥の冒頭の der は指示代名詞であり, 〈Der ~~Manager~~〉ということである。

★南ドイツ新聞：①なんとみじめなことか。

シェルパチェフ：②そうなんです、実際のところ。③ええ、④少なからぬ人にとってそのような過剰な男性性誇示主義は恐ろしい形で終わりました。⑤私はかつてリーマンブラザーズのあるマネージャーと外出したことがあります。⑥そやつはそれ(⑦)をもっていました、⑦それにみんながあこがれました：⑧すなわち、家を一軒ロンドンに、一軒南フランスに、何台もの高

級車を。⑨しかし彼は約 1700 万ポンドをリーマンの有価証券に投資していました。⑩彼はすべてを失いました。⑪今や彼は自分を破滅者だと感じているのです。

9. wenn の省略

課題

(37)はドイツにおける平均気温の変化に関するテキストの一部である。下線部の定動詞はどれであろうか。そしてそれはなぜそこにあるのだろうか。

(37) Das Jahr 2000 war in Deutschland das wärmste Jahr seit 100 Jahren. Nach Berechnungen des Deutschen Wetterdienstes erreichte die Jahresmitteltemperatur 9,9 Grad Celsius. [...] Bis dahin hatte das Jahr 1994 als Wärmerekordjahr gegolten. Verfolgt man die Durchschnittstemperaturkurve, dann sieht man, dass sich kalte und warme Jahre in Deutschland abwechseln. (Wärmstes Jahr)

解説

(37) ① Das Jahr 2000 war in Deutschland das wärmste Jahr seit 100 Jahren. ② Nach Berechnungen des Deutschen Wetterdienstes erreichte die Jahresmitteltemperatur 9,9 Grad Celsius. [...] ③ Bis dahin hatte das Jahr 1994 als Wärmerekordjahr gegolten. ④ **Verfolgt** man die Durchschnittstemperaturkurve, ⑤ dann **sieht** man, ⑥ **dass sich** kalte und warme Jahre in Deutschland **abwechseln**.

定動詞は verfolgt と sieht, sich abwechseln である。verfolgt が文頭にある

のは、前回の〈3.4. 定動詞が文頭の場合〉でも扱った〈wenn の省略〉である（戦略と戦術 (2), pp. 205-206）。wenn を補うと次のようになる。

④' + ⑤' + ⑥' **Wenn** man die Durchschnittstemperaturkurve **verfolgt**, dann **sieht** man, **dass sich** ～ **abwechseln**.

⑤は文頭に dann があることから、〈定動詞倒置〉で sieht は二番目に置かれ、主語の man はその次である。⑥で abwechseln が文末にあるのは、この文が dass という従属接続詞によって導かれる副文だからである。

★① 2000 年はドイツではこの百年で最も暖かった。②ドイツ気象協会の計算によると、年平均気温は 9.9℃ に達した。[...] ③それまでは 1994 年が暖かさの記録保持年として認められていた。④平均気温曲線を追うと、⑤すると人々は目にする、⑥ドイツでは寒い年と暖い年が交互に訪れることを。

wenn の省略は一年生用の教科書などに記載されることは少ない。しかし実際のドイツ語、特に書きことばではしばしば用いられる。

9. 1. 〈wenn の省略〉の見破り方

9. 1. 1. 決定疑問文の場合

定動詞が文頭にある場合の多くは決定疑問文である。これは文末の疑問符(?) によって容易に判別される。

(38) **Verfolgt er** ～ ?

彼は～を追跡しているか。

9. 1. 2. 命令形の場合

定動詞が文頭にある場合の次の可能性は命令形である。命令形では、疑問文における疑問符のように、常に感嘆符 (!) が使用されるわけではない。したがって感嘆符の有無は判別の参考とは必ずしもならない。

しかし次のように、命令形では Sie に対する場合を除いて主語は付けない⁽¹⁾。これに対して wenn の省略の場合は、(37)' の④の man のように主語が存在する。

(39) **Verfolg(e)** ~ (!)

~を追跡せよ。(du に対する場合)

(40) **Verfolgt** ~ (!)

~を追跡せよ。(ihr に対する場合)

(41) **Verfolgen Sie** ~ (!)

~を追跡しなさい。

9. 1. 3. wenn の省略?

wenn による副文は条件や認容を表すことから、コンマを介して結論部が連続することが多い。そこで疑問文、あるいは命令形ではないにもかかわらず、定動詞が文頭に置かれた文に続いて、コンマをはさんでさらに文が続くような場合は、〈wenn の省略〉の可能性が高い。

wenn は非現実話法で用いられることも多い。そこでとりわけ文頭の定動詞が接続法Ⅱ式の場合、前提部における wenn の省略を疑ってみるとよいであろう。

課題

(42)はドイツの女子学生が望む子供の数と出産の現実に関するテキストの一部である。下線部の定動詞はどれであろうか。そしてそれはなぜそこにあるのだろうか。

(42) Würden sie sich alle ihren Kinderwunsch erfüllen, bekäme jede Studentin im Schnitt 2,2 Babys - eine solche Geburtenrate für ganz Deutschland würde genügen, um die Bvölkerung konstant zu halten. (Akademikerin)

解説

(42)' ① **Würden** sie sich alle ihren Kinderwunsch erfüllen, ② **bekämen** jede Studentin im Schnitt 2,2 Babys - ③ eine solche Geburtenrate für ganz Deutschland würde genügen, ④ um die Bvölkerung konstant zu halten.

①で würden が文頭にあるのは wenn の省略によるものである。wenn を補うと次のようになる。

①' + ②' **Wenn** sie sich alle ihren Kinderwunsch erfüllen **würden, bekämen**
～

②の定動詞 bekämen が文頭にあるのは、下線部全体として見た場合、①が文頭の位置を占めていることから、定動詞倒置の原則によって②の文頭が二番目の位置となるからである。

★①彼女たち全員が子どもについての望みを満たすならば、②各々の女子学生は平均して2.2人の赤ちゃんをもうけるであろう - ③そのような出生率は

ドイツ全体に対して十分であろう、④人口を一定に保つために。

註(1) (41)のような二人称敬称の Sie に対する〈命令〉は、正確には命令法ではなく、接続法 I 式による〈要求話法〉である。〈Verfolgen wir ~ (～を追求しよう)〉のような一人称複数に対する〈勧誘〉の形式も同様である。これらについて詳しくは清野, pp. 120-123 を参照されたい。

10. 定動詞要素・分離前つづりの文頭配置

10. 1. 定動詞要素の場合

課題

(43)はドイツ人が住みたい町に関するテキストの一部である。枠構造を構成する定動詞と定動詞要素はどれだろうか。その文を定動詞正置で表現するとどうなるであろうか。

(43) Unter Deutschlands größten Städten ist Hamburg als Wohnort am attraktivsten. Mehr als jeder Sechste würde gerne in der Hansestadt wohnen. Das ergab eine repräsentative Umfrage des Meinungsforschungsinstituts YouGov. Zur Auswahl standen in der Umfrage die 14 deutschen Städte mit mehr als einer halben Million Einwohnern. Befragt wurden online 1034 Menschen über 18 Jahren. (Hamburg)

解説

(43)' ① Unter Deutschlands größten Städten ist Hamburg als Wohnort am attraktivsten. ② Mehr als jeder Sechste würde gerne in der Hansestadt wohnen. ③ Das ergab eine repräsentative Umfrage des Meinungsforschungsinstituts YouGov. ④ Zur Auswahl standen in der Umfrage die 14 deutschen Städte

mit mehr als einer halben Million Einwohnern. ⑤ **Befragt wurden** online 1034 Menschen über 18 Jahren.

36 頁でも述べたように、何を定動詞要素とみなすかは解釈の問題でもある。したがって〈定動詞と定動詞要素との緊密な結びつきによって形成される枠構造〉の範囲もまた必ずしも明確ではない。しかし①の最後の am attraktivsten が述語形容詞として定動詞の ist と枠構造を形成し、②の定動詞 würde が wohnen とともに接続法Ⅱ式を形成していることは理解されよう。⑤もまた定動詞 wurden と過去分詞 befragt によって構成される動作受動態である。しかし通常は文末に置かれる過去分詞がここでは文頭に置かれている。前回見たように（戦略と戦術 (2), pp. 197-200）、ドイツ語では主語以外の文成分が文頭に置かれることは日常的に行われる。その一環として、強調したいなどの理由によって⁽¹⁾、本来は文末に置かれる定動詞要素や分離動詞の前つづりが⑤のように文頭に來ることもある。定動詞正置にすると次のようになる。

⑤' 1034 Menschen über 18 Jahren **wurden** online **befragt**.

★①ドイツの大都市の中でハンブルクは居住地として最も魅力的である。②六人に一人以上がこのハンザ同盟都市に住めればと思っている。③このような結果を世論調査研究所 YouGov の代表調査アンケートは生み出した。④選択肢にはアンケートの中で人口 50 万人以上の 14 のドイツの都市が挙げられていた。⑤質問されたのはオンラインによって 18 歳以上の 1034 人である。

課題

(44)は日本の若者文化に関するテキストの一部である。枠構造を構成する定動詞と定動詞要素はどれだろうか。その文を定動詞正置に変えるとどうなるであ

ろうか。

(44) Dieses Verkleiden der Jugendlichen nennt sich *Cosplay* – von „Costume Play“. Angefangen hat das Verkleidespiel in Japan, wo sich Jugendliche Anfang der 80er Jahre als Figuren aus ihren Lieblings-Mangas verkleideten, um in Tokios Vergnügungsvierteln zu posieren. (Verkleidespiel, S. 1)

解説

(44)' ① Dieses Verkleiden der Jugendlichen nennt sich *Cosplay* – ② von „Costume Play“. ③ **Angefangen hat** das Verkleidespiel in Japan, ④ wo sich Jugendliche Anfang der 80er Jahre als Figuren aus ihren Lieblings-Mangas verkleideten, ⑤ um in Tokios Vergnügungsvierteln zu posieren.

③は定動詞 *hat* と過去分詞 *angefangen* によって構成される現在完了形である。しかし過去分詞が文頭に置かれている。これを定動詞正置にすると次のようになる。

③' Das Verkleidespiel **hat** in Japan **angefangen**,

★①若者たちのこうした変装はコスプレと呼ばれる - ②（それは）「コスチューム プレイ」から（来ている）。③始まったのは、この変装遊びは日本においてである、④そこでは若者たちが80年代の初めに彼らのお気に入りのマンガの登場人物に変装した、⑤東京の繁華街で装って見せるために。

10. 2. 分離前つづりの場合

課題

(45)はドイツ人の姓の研究家である Jürgen Udolph 教授に対するインタビューの一部である。分離動詞はどれであろうか。

(45) **Was verrät uns denn Ihr Nachname über Ihre Familiengeschichte?**

Es ist einer der ältesten Namen in Deutschland: rund 1700 Jahre alt. Es gibt ihn nur 50 Mal. Durchschnittlich kommt ein Familienname deutschlandweit etwa 500 bis 600 Mal vor. Zurück geht er auf einen altgermanischen Personennamen, der aus zwei Teilen zusammengesetzt ist: Ud, das auf Od, Kleinod, Besitz hinweist, und Wolf, in diesem Fall auf Olph verkürzt. (Namenforschung, S. 1)

解説

(45)' ① **Was verrät uns denn Ihr Nachname über Ihre Familiengeschichte?**

② Es ist einer der ältesten Namen in Deutschland: ③ rund 1700 Jahre alt. ④ Es gibt ihn nur 50 Mal. ⑤ Durchschnittlich **kommt** ein Familienname deutschlandweit etwa 500 bis 600 Mal **vor**. ⑥ **Zurück geht** er auf einen altgermanischen Personennamen, ⑦ der aus zwei Teilen zusammengesetzt ist: ⑧ Ud, ⑨ das auf Od, Kleinod, Besitz hinweist, ⑩ und Wolf, ⑪ in diesem Fall auf Olph verkürzt.

まず⑤の vor|kommen である。次に⑥の zurück|gehen である。しかし後者の場合、前つづりの zurück は文頭に置かれている。10. 1. で扱った定動詞要素の場合と同様に、分離動詞の前つづりもこのように文頭に置かれることがある。定動詞正置では次のようになる。

⑥' Er **geht** auf einen altgermanischen Personennamen **zurück**,

★①何を私たちにいったいあなたの姓は、あなたの家族の歴史について教えてくれるのでしょうか。

②それはドイツで非常に古い名前の一つです：③約 1700 年の歴史があります。④それはわずかに 50 件しかありません。⑤平均して一つの苗字はドイツ全体で約 500 から 600 件出現します。⑥さかのぼります、それはある古代ゲルマンの人名に、⑦それは二つの部分から合成されています：⑧ Ud です、⑨それは Od, 即ち宝、財産を指しています、⑩そして Wolf (狼) です、⑪この場合は Olph に短縮されています。

こうした現象を見破るためにも、定動詞をまず把握し、これと結びつく定動詞要素や分離前つづりから形成される枠構造に常に注意を払う必要がある。

註(1) 詳しくは Duden, pp. 788-790 を参照されたい。

11. 枠構造外配置

課題

(46)はポルトガルからスイスに来て清掃の仕事をしている女性に関するテキストの一部である。プンクトとドッベルプンクト以外にどこで切れるであろうか。

(46)' Monicas Eltern gehen regelmässig nach Frankreich, um dort in der Landwirtschaft zu arbeiten. «Ich selbst war bereits zweimal in Frankreich. Man packt Früchte ein und bereitet sie vor. Das wäre auch eine Möglichkeit

gewesen für mich», sagt die 29-Jährige. (Arbeitnehmer, S. 1)

解説

(46)' ① Monicas Eltern gehen regelmässig nach Frankreich, ② um dort in der Landwirtschaft zu arbeiten. ③ «Ich selbst war bereits zweimal in Frankreich. ④ Man **packt** Früchte **ein** / ⑤ und bereitet sie vor. ⑥ Das **wäre** auch eine Möglichkeit **gewesen** / ⑦ für mich», ⑧ sagt die 29-Jährige.

④の末尾の **ein** は分離動詞 **ein|packen** の前つづりである。したがってまずここで切れる。もう一つは⑥の **wäre** とともに現在完了形を形成している過去分詞 **gewesen** の後である。この文は〈正しくは〉, Das **wäre** auch eine Möglichkeit für mich **gewesen**. となるはずのものである。しかし文の見通しを良くするためなどから (ドイツ言語学辞典, p. 97), (46)のように定動詞要素や分離前つづりなどによっていったん文を締めくくった後に, 〈本来は〉これらの前にあるべき語句などが追加的に置かれることがある。こうした現象は**枠造外配置**, ないしは**枠外配置**と呼ばれる。

なお⑥は定動詞を接続法Ⅱ式にした完了形であり, 過去の事象についての非現実的想定である。

★①モニカの両親は定期的にフランスへ行く, ②そこで農業で働くために。③「私自身二度フランスへ行ったことがあります。④人々は果実を包装します, ⑤そしてそれを (出荷／輸送のために) 準備します。⑥それは一つの可能性であったかもしれません, ⑦私にとって」。⑧この 29 歳の女性は (このように) 述べている。

ドイツ言語学辞典には, 「**枠外配置**が (文法的に) ほとんど義務的に用いら

れるケース」(p. 97) として次の三つの場合が挙げられている。

11. 1. 文肢文, 不定詞構文の場合

「文肢文⁽¹⁾や不定詞構文は枠外に置かれる」(ドイツ言語学辞典, p. 97)。

- (47) ① Sie **sprach** die Hoffnung **aus**, / ② **daß sie bald fahren könne**.
(Duden, p. 790)

①彼女は期待を述べた, / ②彼女が間もなく行けるといふ。

- (48) ① Ich **fing** um sieben Uhr morgens **an** / ② **zu handeln**. (Investment-bankerin, S. 2)

①私は朝の七時から始めた, / ②取引することを。

11. 2. 付加語文の場合

「関係文などの付加語文は先行詞や相関語 (49では *davon* 筆者註) とともに外置されることが多い」(ドイツ言語学辞典, p. 97)。これについては〈8. *da* + 前置詞と *wo* + 前置詞〉も参照されたい。

- (49) ① Sie **will** nichts mehr **wissen** / ② **davon**, ③ **was hier in der Kajüte geschehen ist** / ④ **vor sieben Jahren**. (Duden, p. 790)

①彼女はもう一切関わりを持とうとしなかった, / ②それ (③, ④) について, ③この船室で起きたこと, / ④七年前に。

本来(49)は, ②が③とともに枠構造外配置されていることを示すための例文として挙げられている。しかし④の〈*vor sieben Jahren*〉もまた枠構造外に配置されている。③では, 従属の接続詞として用いられている *was* があるので,

完了の助動詞である ist は、〈本来は〉次のように文末に来なければならないはずである。

②' + ③' + ④' davon, **was** vor sieben Jahren hier in der Kajüte geschehen **ist**.

11. 3. 比較文の場合

「比較文における wie や als によって導かれる文肢」(ドイツ言語学辞典, p. 97)。

(50) ① Im vergangenen Jahr **sind** in Deutschland so viele Ehen **geschieden worden** / ② **wie nie zuvor**. (Ehescheidung)

①昨年ドイツではそれほど多くの婚姻が解消された / ②これまでにな
いほど。

(50)は〈so ~ wie ~〉による同等比較である。この文では wie 以下が sind ~ geschieden worden という受動の完了形の枠構造外に押し出されている。

なお worden という語は受動の完了形にしか用いられない語であり、必ず文末に置かれる。したがって worden があれば必ず受動の完了形である。

(51) ① Der «Bild»-Zeitung sagte er [...]. ② Die Ernte **werde** 20 bis 30 Prozent geringer **sein** / ③ **als erwartet**. (Preisanstieg)

①「ビルト」紙に彼は述べた [...]. ②収穫は 20 から 30 パーセント少ないであろう, / ③期待されていたよりも。

(51)は〈geringer als ~〉という比較級による比較である。この場合は als 以下が②の werde ~ sein という未来形の枠構造の外に置かれている。

なお〈werden + 不定形〉によるドイツ語の〈未来形〉は、純粋に時間的に

先のことというよりも、むしろ話し手の推測や意向などを表す。

一般に一年次の文法などでは〈定動詞要素は文末に置かれる〉と説明される。しかし常にそうであるとは限らないことは前回も見たとおりである（戦略と戦術 (2), pp. 219-230）。杵構造外配置もそうした場合の一つである。

これに対処するためにも、定動詞から定動詞要素までの杵構造を常に把握することが必要である。その終端部から後ろが〈はみ出した〉部分であり、杵構造とどのように関連するかを考える。

課題

(52)は、腹部を露出する装いに関するインタビューの一部である。プンクトとコンマ以外の文の切れ目はどこだろうか。

(52) Kathrin E. (Studentin, 24 Jahre): „Ich finde das sehr modisch und modern, deswegen trage ich auch selber gerne bauchfrei, wenn es schön warm ist. Bei hohen Temperaturen finde ich es sogar viel schöner, dass ich luftigere Kleidung tragen darf als einige Männer. Quälen dafür würde ich mich aber nicht. Also im Winter würde ich mich nicht unbedingt damit an die Bushaltestelle stellen.“ (bauchfrei S. 1)

解説

(52) Kathrin E. (Studentin, 24 Jahre): ① „Ich finde das sehr modisch und modern, ② deswegen trage ich auch selber gerne bauchfrei, ③ wenn es schön warm ist. ④ Bei hohen Temperaturen finde ich es sogar viel **schöner**, ⑤ **dass** ich luftigere Kleidung tragen **darf** / ⑥ **als einige Männer**. ⑦ Quälen dafür würde ich mich aber nicht. ⑧ Also im Winter würde ich mich

nicht unbedingt damit an die Bushaltestelle stellen.“

答は⑤の darf の後である。④から⑥にかけての文の骨組みは〈～finde ich es ~schöner, dass ich ~darf / als ~〉である。schöner als ~という比較級による表現の中に、④の es の具体的内容を伝える従属文⑤が割り込んでいることからこのような形になっている。

なお④のように、比較級 (schöner) の前に置かれる viel は比較級の〈強め〉である。また⑦は定動詞要素の文頭配置である。

★カトリン E. (学生, 24 歳: ①「私はそれをととてもおしゃれで今風だと思います, ②だから私自身も好んで腹部を露出した服装をします, ③すばらしく暖かい時には, ④気温が高い時にはそれどころかそのこと (⑤, ⑥) をはるかにすばらしいと思います, ⑤私がより風通しのよい衣服を着てもよいことが, ⑥一部の男性たちよりも, ⑦自分を苦しめることはそのかわりにしかし私はしないでしょう。⑧すなわち冬に私はそのようなものを着てバス停にどうしても立とうなどとはしないでしょう。」

註(1) 「文肢」とは「文成分」のことである。したがって「文肢文」とは文成分となる副文である。

12. 同一者／物の把握

課題

次の新聞記事のおおよその内容は見出しなどから考えてみてほしい。下線部 1) ~4) はそれぞれ具体的に何のことを言っているのでしょうか。(斜体は原文では太字)

(53) TROCKENHEIT IN AUSTRALIEN

Emus fallen über die Felder her

SYDNEY, 15. August (dpa). Extreme Trockenheit bedroht im Osten Australiens eine große Zahl von Tieren und hat zu Beginn der Woche bereits weit über ein Dutzend Buschfeuer entfacht. [...] Auf dem Fünften Kontinent₁₎ gibt es etwa 25 Millionen Kängurus.

Australiens Bauern stöhnen inzwischen über eine Invasion von hungrigen Emus auf ihren Feldern. Mitunter fielen bis zu 300 der straußähnlichen Vögel₂₎ auf einmal über die Ernten her, weil sie₃₎ wegen der Dürre andernorts kaum mehr etwas zu fressen fänden, meldete ABC. Die Bauern hätten jetzt die Wildschutz-Behörden aufgefordert, die flugunfähigen Tiere₄₎ abzuschießen, um die Felder zu schützen. (Emus)

解説

(53)' ① TROCKENHEIT IN AUSTRALIEN

② **Emus** fallen über die Felder her

③ **SYDNEY**, 15. August (dpa). ④ Extreme Trockenheit bedroht **im Osten Australiens** eine große Zahl von Tieren ⑤ und hat zu Beginn der Woche bereits weit über ein Dutzend Buschfeuer entfacht. [...] ⑥ Auf dem Fünften Kontinent₁₎ gibt es etwa 25 Millionen **Kängurus**.

⑦ **Australiens** Bauern stöhnen inzwischen über eine Invasion von hungrigen **Emus** auf ihren Feldern. ⑧ Mitunter fielen bis zu 300 der straußähnlichen Vögel₂₎ auf einmal über die Ernten her, ⑨ weil sie₃₎ wegen der Dürre andernorts kaum mehr etwas zu fressen fänden, ⑩ meldete ABC. ⑪ Die Bauern hätten jetzt die Wildschutz-Behörden aufgefordert, ⑫ die flugunfähigen Tiere₄₎ abzuschießen, ⑬ um die Felder zu schützen.

下線部 1) を日本語にすると〈五番目の大陸〉ということである。見出しや本文にある IN AUSTRALIEN, SYDNEY, im Osten Australiens あるいは Kängurus といったことばと、世界地理に関する背景的知識などからこれがオーストラリアを指していることは容易に理解されよう。

下線部 2) は〈駝鳥に似た鳥〉ということであり、複数の 2 格である。⑧の主語は 300 であり、そのまま日本語にすると〈駝鳥に似た鳥の 300 羽が〉ということである。場所がオーストラリアであることと動物に関する知識などから、これが見出しや⑦にある Emus の言い換えであることは理解されよう。

下線部 3) の sie は、定動詞の fänden が en で終わっていることから、三人称複数の人称代名詞である。そこでこれは同じく複数形の下線部 2), すなわち Emus を受けている。

下線部 4) は〈この飛べない動物〉ということであり、これもまたエミューの言い換えであることは容易に理解されよう。

ちなみに(43)'の②の der Hansestadt も①の Hamburg の言い換えである。

なお④の eine große Zahl von Tieren は、〈動物の (von Tieren) 多数が (eine große Zahl)〉、即ち〈多数の動物が〉ということである。

⑧と⑨は ABC 放送の報道内容の引用であり、主語は三人称単数である。そこで定動詞にそれぞれ fielen, fänden と接続法 I 式に代わる接続法 II 式が使用されている。また⑪の hätten についても同様であり、内容が過去のことであるために aufgefördert と共に現在完了形となっている。

ドイツ語は同じ語を何度も繰り返すことを嫌う。そこで下線部 1) ～ 4) のような言い換えは「ドイツ語では特に新聞などで頻繁に用いられるテクニック」

(清野, p. 69) であり, 「これによってさまざまな情報を自然に提供し, かつ, テクストのまとまりも生まれる」(清野, p. 69) という機能も果たしている。

そこでテキストの理解に際しては, こうした言い換えに振り回されることなく, それが一貫して具体的に何を指しているかを把握する必要がある。こうした言い換えには, 事の性質上, 定冠詞を付したことが用いられる。これについて詳しくは関口存男, pp. 295-317 を参照されたい。

またこれと同様に, 人称代名詞や指示代名詞なども具体的にどのことばに対応しているかを常に把握する必要がある。形式のうえでその手掛りとなるのが, 性と数である。

★①オーストラリアの乾燥

②エミューが畑になだれ込む

③シドニー, 8月15日(ドイツ通信)。④極端な乾燥がオーストラリアの東部で多数の動物を脅かしている, ⑤そして今週の始めに極端な乾燥はすでに12件をはるかに超える山火事を引き起こした。[…] ⑥この五番目の大陸には約2500万頭のカンガルーがいる。

⑦オーストラリアの農民は, そうこうするうちに腹をすかせたエミューによる彼らの畑の侵略に苦しんでいる。⑧時折最大で300羽にもものぼる駝鳥に似た鳥が一気に収獲物に襲いかかっていると, ⑨なぜならばそれら(エミュー)は, 干ばつのせいで他ではもはや食べる物をほとんど見つけられないからであると, ⑩報じた, ABC放送は。⑪農民たちは今や自然保護局に要請したとのことである, ⑫この飛べない動物を射殺することを, ⑬畑を守るために。

課題

(54)はベルリン在住の Sahira という名前の回教系女性歌手に関するテキストの一部である。下線部 1) ～ 3) はそれぞれ具体的に何のことを言っているのだろうか。

(54) Nein, mit der kolumbianischen Sängerin Shakira möchte Sahira nicht verwechselt werden. Auch wenn die 27-jährige Berlinerin₁₎ genauso hübsch und attraktiv ist wie die fast gleichaltrige Südamerikanerin₂₎: große braune Augen, schlanke Figur und geschwungene Lippen. Nur die lockige Haarpracht ist nicht zu sehen: Ihre Haare verhüllt die jünge Frau₃₎ mit einem Tuch. (Sahira, S. 1)

解説

(54) ① Nein, ② mit der kolumbianischen Sängerin **Shakira** möchte **Sahira** nicht verwechselt werden. ③ Auch wenn die 27-jährige Berlinerin₁₎ genauso hübsch und attraktiv ist ④ wie die fast gleichaltrige Südamerikanerin₂₎: ⑤ große braune Augen, schlanke Figur und geschwungene Lippen. ⑥ Nur die lockige Haarpracht ist nicht zu sehen: ⑦ Ihre Haare verhüllt die jünge Frau₃₎ mit einem Tuch.

下線部 1) は文字通りには〈この 27 歳のベルリン女性〉ということである。これはもとより②で名前が挙がっている Sahira の言い換えである。これに対して下線部 2) の〈このほぼ同年齢の南米女性〉とはコロンビアの女性歌手である Shakira のことである。そして下線部 3) の〈この若い女性〉は再び Sahira を指している。

Sahira のような回教徒の女性は、人前で髪や肌を見せないように装う。こ

れに対してコロンビアは南アメリカのキリスト教国であり、Shakira にはこのような規範は存在しないはずである。こうした地理や宗教などに関する背景的知識は、これらの言い換えの理解を下支えする土台である。

なお③と④は *geanauso ~ wie ~* による同等比較の文であり、〈11. 枠構造外配置〉で見たように、④は③からの枠構造外配置である

★①いや違う、②コロンビアの女性歌手シャキーラとザヒーラは取り違えられたくない。③たとえこの27歳のベルリン女性が全く同じように美しく魅力的であっても、④このほぼ同年齢の南米女性のように：⑤大きな茶色の目とすらりとした体型、美しい弓形の唇。⑥見事な巻き髪だけが見られない：⑦彼女の髪をこの若い女性は布で覆い隠している。

13. 同格の並置

課題

(55)はドイツにおけるビール醸造の歴史に関するテキストの一部である。下線部1), 2) はそれぞれ何格だろうか。そしてそれはなぜだろうか。

(55) Die Entstehung des Biergartens ist dem Zufall₁₎ zu verdanken – und dem bayerischen König Ludwig I.₂₎ (Bier, S. 1)

解説：

(55) ① Die Entstehung des Biergartens ist dem Zufall₁₎ zu **verdanken** – ② und dem bayerischen König Ludwig I.₂₎

①の定動詞 *verdanken* (おかげをこうむっている) は、3格の目的語を必要とする。①では下線部 1) がそれである。①を *zu verdanken* で一応締めくくった後に、ゲダンケンシュトリヒによって表されているように、少し間を置いて付け足されたもう一つの〈恩義の対象〉が下線部 2) である。そこでこれも *dem Zufall* と同様に 3格となっている。

このように同じ格の語が、コンマなどを介して離れて置かれていることがある。55) は、一つの動詞に複数の目的語がある場合である。

★①ビアガーデンの誕生は偶然のおかげをこうむっている - ②そしてバイエルン王のルートヴィヒ一世にも。

課題

56) は今日のドイツの熟練技能労働者に関するテキストの一部である。下線部 1) ～ 4) はそれぞれ何格だろうか。そしてそれはなぜだろうか。

56) Allein bei Nordisk Handvaerk Aps sind 240 Deutsche beschäftigt. Bei Projekten₁₎ wie dem Neubau₂₎ des Zentralkrankenhauses in Oslo, dem neuen Opernhaus₃₎ der Stadt oder einer Feriensiedlung₄₎ in Bergen wird auf den Baustellen auch deutsch gesprochen. (Meister S. 1)

解説

56) ① Allein bei Nordisk Handvaerk Aps sind 240 Deutsche beschäftigt. ② **Bei** Projekten₁₎ ③ **wie** dem Neubau₂₎ des Zentralkrankenhauses in Oslo, ④ dem neuen Opernhaus₃₎ der Stadt ⑤ oder einer Feriensiedlung₄₎ in Bergen wird auf den Baustellen auch deutsch gesprochen.

⑤は一つの前置詞がいくつかの語を格支配している例である。②の冒頭の Bei は 3 格支配の前置詞であることから、その直後の Projekten は複数の 3 格である。しかし bei の支配力はこれにとどまらず、③の wie 以下に列挙されている三つの具体的な建設工事例にも及んでいる。下線部 2) ～ 4) がそれぞれである。そこでこれらもすべて 3 格である。

なお⑤は定動詞 wird と gesprochen という過去分詞から形成されている動作受動態である。しかしこれは③の⑨と同様に、主語を欠いている。deutsch が一見主語のようにも見える。しかし語頭の d が小文字で表記されている。したがってこれは主語ではなく、副詞である。

★① Nordisk Handvaerk Aps (企業名) だけでも 240 人のドイツ人が働いている。②いろいろな事業で、③オスロの中央病院の新築のような、④同市の新しい歌劇場のような、⑤あるいはベルゲンの休暇村のような (事業で) 工事現場ではドイツ語でも会話されている。

課題

⑤は第一次世界大戦中のドイツにおける飢餓についてのテキストの一部である。下線部 1) ～ 4) はそれぞれ何格だろうか。そしてそれはなぜだろうか。

⑤ Grund für den Hunger war die völlige Nichtachtung der Ernährungsfrage der Bevölkerung in der Kriegsplanung – die Soldaten wurden während des gesamten Krieges ausreichend versorgt. Trotz verschiedener Bemühungen₁₎ des Kaiserreiches – der Ausgabe₂₎ von Lebensmittelkarten, staatlicher Höchstpreise₃₎, des Verfütterungsverbots₄₎ von geeigneten Nahrungsmitteln

an Nutztiere; [...] – ③ sank die Nahrungsmittelproduktion stetig. (Hunger)

解説

(57) ① Grund für den Hunger war die völlige Nichtachtung der Ernährungsfrage der Bevölkerung in der Kriegsplanung – ② die Soldaten wurden während des gesamten Krieges ausreichend versorgt. ③ **Trotz** verschiedener Bemühungen₁₎ des Kaiserreiches ④ – der Ausgabe₂₎ von Lebensmittelkarten, ⑤ staatlicher Höchstpreise₃₎, ⑥ des Verfütterungsverbots₄₎ von geeigneten Nahrungsmitteln an Nutztiere; [...] – ⑦ sank die Nahrungsmittelproduktion stetig.

③の冒頭の Trotz は 2 格支配の前置詞である。したがって verschiedener Bemühungen (さまざまな努力) は複数 2 格である。そしてその具体的施策例として④から⑥にかけて列挙されているのが下線部 2) ～ 4) である。そこでこの trotz の支配力はこれらにも及び、すべて 2 格となっている。

★①飢餓の原因は戦争計画における国民の食糧問題の完全な無視であった –

②軍人は戦争の全期間を通じて十分に給養されていた。③帝国のさまざまな努力にもかかわらず, ④ – 食糧配給券の発行 (にもかかわらず), ⑤国による最高価格 (の制定にもかかわらず), ⑥人間に適する食料の用畜への給餌禁止 (にもかかわらず); [...] – ⑦食料生産は絶えず減り続けていった。

14. 形容詞と副詞の区別

課題

次の三つの gut は、文法的にどのように異なるのでしょうか。

- (58) Der Kaffee ist gut.
- (59) Er trinkt immer einen guten Kaffee
- (60) Er kocht immer gut Kaffee.

解説

(58)の定動詞はコブラ動詞の sein である。したがって gut は主語の Der Kaffee に対する述語形容詞である（戦略と戦術 (2), pp. 196-197）。このように形容詞を述語形容詞として使用する場合は〈形容詞の述語的用法〉と呼ばれ、語尾は付加されない。日本語で言えば、〈そのコーヒーはおいしい〉である。

これに対して(59)では、gut という形容詞は後ろの名詞 Kaffee を修飾している。こうした場合は〈形容詞の付加語的用法〉と呼ばれ、形容詞には何らかの語尾が付される。この場合は guten の en がそれである。日本語で言えば〈彼はいつもおいしいコーヒーを飲んでいる〉である。

(60)においても gut には語尾が付されていない。しかし定動詞 kocht はコブラ動詞ではない。このような場合は副詞であり、gut は定動詞 kocht を修飾している。日本語で言えば〈彼はいつもおいしくコーヒーをいれる〉である。

ドイツ語では形容詞と副詞は同形である。そこでともするとこれらが混同される場合が少なくない。しかし上の三者には内容的に大きな違いがある。テキストの厳密な理解のためにはこれらを明確に区別する必要がある。

課題

(6l)は旧東ドイツ地域からの人口流出に関するテキストの一部である。下線部はどの語を修飾しているであろうか。

(6l) Landstriche mit verwaisten Häusern und Läden; Kindergärten und Schulen, die nicht mehr gebraucht werden; gefährdete medizinische Versorgung - so pessimistisch sehen zahlreiche Prognosen die Zukunft der ländlichen Gebiete Ostdeutschlands. (Go West)

解説

(6l)' ① Landstriche mit verwaisten Häusern und Läden; ② Kindergärten und Schulen, ③ die nicht mehr gebraucht werden; ④ gefährdete medizinische Versorgung - ⑤ so pessimistisch **sehen** zahlreiche Prognosen die Zukunft der ländlichen Gebiete Ostdeutschlands.

⑤について、〈…悲観的な数多くの将来予測は…〉といった形で, pessimistisch が zahlreiche とともに Prognosen を修飾していると理解する学生諸君を時折見かける。しかし pessimistisch には語尾が付加されていない。またこの文の定動詞はコブラ動詞ではない。さらに pessimistisch と zahlreiche Prognosen は定動詞 sehen によって分断されている。したがって pessimistisch は sehen を修飾する副詞である。もし〈それほど数多くの悲観的な将来予測は～〉であるならば、〈so zahlreiche pessimistische Prognosen〉となり、形容詞の pessimistisch に〈e〉という語尾が付加されるはずである。

★①見捨てられた住宅や商店のある地域；②幼稚園と学校, ③それらはもはや使われていない；④危機に瀕する医療 - ⑤数多くの将来予測は東部ドイツ

の田舎の未来をきわめて悲観的に見ている。

課題

(62)はドイツの女子学生が望む子どもの数と出産の現実についてのテキストの一部である。下線部の語はそれぞれどの語を修飾しているのだろうか⁽¹⁾。

(62) Tatsächlich aber haben mehr als 40 Prozent der Akademikerinnen im Alter von 35 bis 40 Jahren keine Kinder. Großfamilien werden zur Ausnahme: Gerade mal jede zwölfte Akademikerin hat drei oder mehr Kinder. Eine Ursache ist, dass viele Hochschulabsolventinnen erst schwanger werden wollen, wenn sie eine sichere berufliche Position erreicht oder ausreichend Berufserfahrung gesammelt haben. (Akademikerin)

解説

(62)' ① Tatsächlich aber haben mehr als 40 Prozent der Akademikerinnen im Alter von 35 bis 40 Jahren keine Kinder. ② Großfamilien werden zur Ausnahme: ③ Gerade mal jede zwölfte Akademikerin hat drei oder mehr Kinder. ④ Eine Ursache ist, ⑤ dass viele Hochschulabsolventinnen erst schwanger werden wollen, ⑥ wenn sie eine sichere berufliche **Position** erreicht ⑦ oder ausreichend Berufserfahrung **gesammelt haben**.

⑥の sichere の元の形は sicher であり、末尾の e は後ろの berufliche と共に Position を修飾する際の語尾である。日本語で言えば〈確かな職業上の地位に到達した〉であり、〈確かに職業上の地位に到達した〉ではない。

⑦の定動詞 haben はコブラ動詞ではない。また ausreichend には付加語形容詞としての語尾は付されていない。したがってこれは副詞であり、gesammelt

haben を修飾している。日本語で言えば〈十分に職業経験を蓄積した〉であり、〈十分な職業経験を蓄積した〉ではない。もし後者であれば eine ausreichende Berufserfahrung となるはずである。

35 頁の(4)'の③, 〈Ähnlich niedrige Geburtenrate haben zum Beispiel Italien und Österreich.〉における Ähnlich もまた副詞であり、〈Ähnliche niedrige Geburtenrate ～〉とは異なることにも注意されたい。

★①実際にしかし 35 歳から 40 歳の大卒女性の 40%以上が子どもをもっていない。②大家族は例外になりつつある：③ちょうど 12 人に一人の大卒女性が三人ないしはそれ以上の子どもをもっている。④一つの原因は (⑤, ⑥, ⑦) である, ⑤多くの大卒女性ははじめて妊娠することを望む, ⑥彼女たちが確かな職業上の地位に到達したときに, ⑦あるいは十分に職業経験を蓄積したときに。

形容詞の付加語的用法の語尾変化は面倒である。かつまた混合変化 (不定冠詞 (類) + 形容詞 + 名詞) の男性 1 格, 中性 1・4 格以外と弱変化 (定冠詞 (類) + 形容詞 + 名詞) の場合はその重要性も低い。しかし上に見たように, 何らかの語尾があるか否かの違いは大きい。目をよく見開いて見てほしい。

註(1) 本テキストの②-⑦は〈戦略と戦術 (2), p. 217〉でも使用した。

15. 現在分詞と過去分詞の意味内容と用法

15. 1. 現在分詞

課題

(63)は地球の大気と水, 土地をめぐる問題に関するテキストの一部である。下

線の語を辞書で調べるに際して、どのような語形で引けばよいであろうか。

(63) Sauberes Wasser wird zu einer der kostbarsten Ressourcen der Welt werden. Bewässerung in der Landwirtschaft verbraucht bereits heute 70 Prozent des verfügbaren Süßwassers weltweit. Bis zum Jahr 2050 muss aber die Nahrungsproduktion mindestens verdoppelt werden, um das Hungerproblem einer wachsenden Weltbevölkerung zu lösen. (Bedrohung, S. 1)

解説

(63)' ① Sauberes Wasser wird zu einer der kostbarsten Ressourcen der Welt werden. ② Bewässerung in der Landwirtschaft verbraucht bereits heute 70 Prozent des verfügbaren Süßwassers weltweit. ③ Bis zum Jahr 2050 muss aber die Nahrungsproduktion mindestens verdoppelt werden, ④ um das Hungerproblem einer wachsenden **Weltbevölkerung** zu lösen.

答は不定形の wachsen（成長する）である。これに d を付加した wachsend は現在分詞である。この語は後ろの Weltbevölkerung を修飾する形容詞として用いられている。そこでさらに en という付加語形容詞の語尾が付加されて wachsenden という形になっている。

〈分詞〉とは「動詞の性質と形容詞の性質とを分有している、つまりこの2つの品詞の性質を分かち持っているということ」（常木, p. 243 下線原著), すなわち「動詞に形容詞的な役割を持たせる方法」（清野, p. 252）である。そして現在分詞とは次のようなものである。

〔…〕現在分詞は何のためにあるかというと、動詞を主に付加語、つま

り名詞の前に置かれる形容詞と同じ働きをするものに変えるためです。また、動詞を修飾する副詞の用法もあります。どちらの場合も「...している」という動作の進行や状態の持続を表します（清野, p.252）。

verlockend（魅力的な）など頻繁に使用され、形容詞あるいは副詞として成熟している現在分詞は一般に動詞（verlocken）と共に辞書に載っている。しかしこの wachsend は小学館の大独和辞典にも採録されていない。こうした場合に備えて、〈動詞の不定形 + d〉が現在分詞であること⁽¹⁾を知っている必要がある。またこれによって辞書を引く手間を省くことも可能となる。

★①きれいな水は世界の中できわめて貴重な資源の一つとなるであろう。②農業における灌漑はすでに今日世界中で使用可能な淡水の70%を消費している。③2050年までにしかし食糧生産が少なくとも倍増されなければならない、④増大しつつある世界人口の飢えの問題を解決するために。

15. 2. 過去分詞

課題

(64)は冷凍食品に関するテキストの一部である。下線部の語を辞書で調べるに際しては、どのような語形で引けばよいであろうか。

(64) Er entwickelte daraufhin eine Gefriermaschine, 1930 brachte Birdseye die ersten schockgefrorenen Lebensmittel auf den Markt: Fisch, Fleisch, Früchte, und Gemüse. In Deutschland verbreiteten sich die Tiefkühltruhen erst in den 1960er Jahren flächendeckend. (Tiefkühlkost, S. 1)

解説

(64) ① Er entwickelte daraufhin eine Gefriermaschine, ② 1930 brachte Birds-eye die ersten schockgefrorenen **Lebensmittel** auf den Markt: ③ Fisch, Fleisch, Früchte, und Gemüse. ④ In Deutschland verbreiteten sich die Tiefkühltruhen erst in den 1960er Jahren flächendeckend.

答は *schock|gefrieren* (急速冷凍する) という不定形である。*schockgefroren* はその過去分詞であり、これに付されている語尾の *en* は後ろの *Lebensmittel* を修飾する付加語形容詞としての語尾である。

過去分詞の意味内容はおおよそ次のようなものである。

sein 支配の自動詞の場合は、「... してしまっている」という完了の意味になります。*die untergegangene Sonne* 「沈んだ太陽」とか、*das vergangene Jahr* 「去年 (← 過ぎ去った年)」などですね。他動詞の場合は「... された」という受動の意味になります。*ein gekochtes Ei* 「ゆで卵」や、*der ermordete Mann* 「殺された男」などです。(清野, pp. 252-253)

したがって過去分詞もまた現在分詞と同様に、〈動詞起源の形容詞・副詞〉であると言えよう。そこで *die ersten schockgefrorenen Lebensmittel* とは〈最初の急速冷凍された食品を〉ということである。

★①彼はその後冷凍機を開発した、② 1930 年にバーザイは最初の急速冷凍食品を市場に出した：③ 魚、肉、果物、そして野菜。④ ドイツでは冷凍庫はようやく 1960 年代になって広く普及した。

非分離動詞や -ieren, -eien に終る語を除いて、過去分詞の外形上の特徴は語頭の〈ge〉である。しかし分離動詞の場合は、zu 不定詞において zu が前つづりと基礎動詞の間に挿入されるように、ge も前つづりと基礎動詞の間に挿入され、〈untergegangen〉のように一語として表記される。いずれにせよ過去分詞は現在完了形、動作／状態受動などで文末に置かれることが多い。そこで文末にある語で語頭、ないしは語中に ge のある語は過去分詞である可能性が高い。

註(1) 次の二語のみが例外である：sein → seiend, tun → tuend。

16. 比較級・最上級における二重の語尾

課題

(65)は自動車運転技能の男女間での差異に関するテキストの一部である。下線部 1) - 7) の語を辞書で調べるに際しては、それぞれどのような語形で引けばよいであろうか。

(65) Vor allem jüngere₁₎ Männer brechen öfter₂₎ die Regeln als Frauen und stellen somit die grösste₃₎ Risikogruppe dar. Frauen haben eher Unfälle wegen geringerer₄₎ Fahrpraxis. Tatsächlich verunfallen junge₅₎ Männer mit Abstand am häufigsten₆₎. In den höheren₇₎ Altersgruppen ändert sich das Bild: […] (Autofahren)

解説

(65) ① Vor allem jüngere₁₎ **Männer brechen** öfter₂₎ die Regeln ② als Frauen ③ und stellten somit die grösste₃₎ **Risikogruppe** dar. ④ Frauen haben eher

Unfälle ⑤ wegen geringerer₄₎ **Fahrpraxis**. ⑥ Tatsächlich **verunfallen** junge₅₎ **Männer** mit Abstand **am** häufigsten₆₎. ⑦ In den höheren₇₎ **Altersgruppen** ändert sich das Bild: […]

形容詞を比較級、最上級とするに際しては、-er、-st という語尾を付ける。その際に幹母音の a,o,u は ä,ö,ü に変音することが多い。またこれまでに見たように、形容詞や現在分詞、過去分詞は名詞を修飾する付加語として用いられる場合には何らかの語尾が付される。したがって比較級、最上級の形容詞が名詞の付加語として使用される場合には、比較級／最上級の語尾と形容詞の語尾が二段構えで付されていることと、幹母音がウムラウトしている可能性があることに注意が必要である。

1) の **jüngere** の **er** は比較級の語尾であり、同時に u が変音している。この語は後ろの **Männer** を修飾する付加語形容詞であることから、さらに *e* という語尾が付加されている。したがって、元の形は **jung** である。

2) の **öfter** もまた比較級である。したがって **er** はその語尾であり、同時に o が変音しており、元の形は **oft** である。この **öfter** は定動詞の **brechen** を修飾する副詞であることから、それ以上の語尾は付されていない。

3) の **grösste** の元の形は **gross** である。ドイツ、オーストリアでは **groß** と表記されるのに対して、ここではスイス式の **ss** が用いられている。**st** は最上級の語尾であり、同時に o が変音している。この語は **Risikogruppe** を修飾する付加語形容詞であることから、さらに語尾 *e* が付されている。

4) の **geringerer** には **er** という語尾が二重に付されている。前の **er** は比較級の語尾であり、後ろの *er* は **Fahrpraxis** に対する付加語形容詞の語尾である。

したがって元の形は *gering* である。ちなみに *wegen* は 2 格支配の前置詞、*Fahrpraxis* は女性名詞であることから、後ろの *er* は女性 2 格の語尾である。

5) の *junge* の *e* は後ろの *Männer* に対する付加語形容詞の語尾である。そこで元の形は *jung* である。

6) の *häufigsten* は最上級であり、*st* はその語尾である。この語は定動詞の *verursachen* を修飾する副詞であることから、前に *am* を、語尾にさらに *en* を付して *am* ～ *sten* という副詞の最上級となっている。元の形は *häufig* である。

7) の *höheren* の元の形は *hoch* である。*er* は比較級の語尾であり、*o* が変音するのみならず、*ch* が *h* に変わっている。この語は後ろの *Altersgruppen* を修飾していることから、付加語形容詞の語尾 *en* がさらに付加されている。

なお①から②にかけては〈*öfter als* ～〉という比較文であり、②は①からの枠構造外配置である。

★①とりわけ比較的若い男性がより頻繁に規則を破る、②女性よりも、③そしてそのようなわけで（比較的若い男性は）最大の危険群をなしている。④女性たちはむしろ事故をもつ、⑤より少ない運転経験の故に。⑥実際に若い男性は他を引き離して最も頻繁に事故を起こす。⑦より年齢が高い群では様相が変わる：[…]

17. 形容詞の名詞化

課題

(66)は *Abitur*（大学入学資格試験）合格後にガーナでボランティアを務めた若者の体験に関するテキストの一部である。下線部はどのような意味内容であ

ろうか。またその元となっている語は何であろうか。

(66) Ich würde jedem empfehlen, ein Jahr als Freiwilliger im Ausland zu verbringen. Man muss aber klar sagen, dass das keine einfache Zeit ist. Ich war viel mit mir selbst beschäftigt, als ich mit der Situation konfrontiert war, mein vertrautes Umfeld verloren zu haben. (Nach dem Abi, S. 2)

解説

(66)' ① Ich würde jedem empfehlen, ② ein Jahr als Freiwilliger im Ausland zu verbringen. ③ Man muss aber klar sagen, ④ dass das keine einfache Zeit ist. ⑤ Ich war viel mit mir selbst beschäftigt, ⑥ als ich mit der Situation konfrontiert war, ⑦ mein vertrautes Umfeld verloren zu haben.

Freiwilliger は本来は〈freiwilliger Mann (自発意志的な男)〉ということである。そこから〈言わずもがな〉の Mann を省略し、残った形容詞が名詞と化したのが Freiwilliger である。すなわち〈freiwilliger Mann〉ということである。発音する場合は Mann を省いただけの〈freiwilliger〉である。しかし筆記するに際しては、ドイツ語では名詞は語頭の文字を大文字で書くことになっているので〈Freiwilliger〉と表記される。

ちなみに女性ボランティアであれば〈Freiwillige Frau〉である。形容詞がこのように男性形か女性形で名詞化された場合、〈そのような性質、資質を備えた男性／女性〉を表す。

★①私は誰に対しても勧めるでしょう、②一年間をボランティアとして外国で過ごすことを。③(人は)しかしはつきりと言っておかなければなりません、④それは容易な期間ではないということを。⑤私は大いに私自身と格闘しま

した, ⑥私が(⑦の)状況に直面したとき, ⑦自分が慣れ親しんだ環境を失ったという。

課題

(67)はかつて投資銀行に勤務していた女性へのインタビューの中で, 銀行員たちの常軌を逸した金遣いに関するやり取りの一部である。下線部はどのような意味内容であろうか。またその元となっている語は何であろうか。

(67) **SZ:** Warum brauchen gerade Banker diesen extremen Lebensstil?

Stcherbatcheff: Es stimmt schon, Mediziner oder Architekten machen das nicht in diesem Ausmaß. Das Geld allein kann es nicht sein, Ärzte verdienen ja auch gut. In der City gibt es viel Gier, viel Neid, viel Ego.

SZ: Vielleicht liegt es daran, dass die meisten sehr jung sind ...

Stcherbatcheff: ... ja, und die Schlimmsten sind jene, die in der Schule unsicher waren und kein Mädchen abbekommen haben. In der City verdienen sie ein Wahnsinnsgeld und kaschieren so ihre Unsicherheit. [...] (Investmentbankerin S. 1)

解説

(67) **SZ:** ① Warum brauchen gerade Banker diesen extremen Lebensstil?

Stcherbatcheff: ② Es stimmt schon, ③ Mediziner oder Architekten machen das nicht in diesem Ausmaß. ④ Das Geld allein kann es nicht sein, ⑤ Ärzte verdienen ja auch gut. ⑥ In der City gibt es viel Gier, ⑦ viel Neid, ⑧ viel Ego.

SZ: ⑨ Vielleicht liegt es daran, ⑩ dass die meisten sehr jung sind ...

Stcherbatcheff: ⑪ ... ja, ⑫ und die Schlimmsten sind jene, ⑬ die in der

Schule unsicher waren ⑭ und kein Mädchen abbekommen haben. ⑮ In der City verdienen sie ein Wahnsinnsgeld ⑯ und kaschieren so ihre Unsicherheit. [...]

答は〈もっとも困った人たち〉ということである。これは *schlimm* の最上級である *schlimmst* と *die Leute* を組み合わせた 〈*die schlimmsten Leute*〉から *Leute* を省略して生まれた形容詞の名詞化である。すなわち 〈*die Schlimmsten Leute*〉である。

このように複数形で名詞化されると、〈そのような性質、資質を備えた人々〉を意味する。また形容詞である以上、最上級が名詞化されることも稀ではない。

★南ドイツ新聞：①なぜまさに銀行員がこうした極端な生活のしかたを必要とするのですか。

シェルパチェフ：②おっしゃるとおりです、③医師あるいは建築家もそれ（派手な金遣い）をこれほどの規模ではしません。④お金だけが原因ではありません、⑤医者もよい収入を得ます。⑥シティーにはたくさんの欲望があります、⑦たくさんの妬みが（あります）、⑧たくさんのエゴが（あります）。

南ドイツ新聞：⑨ひょっとすると次のことが原因かもしれません、⑩たいいていの人たちが非常に若いということ...

シェルパチェフ：⑪ ... そうですね、⑫そしてもっとも困った人たちは次のような人たちです、⑬その人たちは学校では自信がありませんでした、⑭そして女の子の分け前にあずかれませんでした。⑮シティーでは彼らは途方もないお金を稼ぎます、⑯そしてそのようにして彼らの不安を隠しているのです。[...]

課題

(68)はドイツ人が住みたい町に関するテキストの一部である。下線部はどのような意味内容であろうか。またその元となっている語は何であろうか。

(68) **Junge wollen nach Berlin**

Unterschiede gab es bei den Altersgruppen. Bei jungen Erwachsenen ist die Hauptstadt sehr beliebt — hier liegt Berlin bei unter 25-jährigen auf Platz eins. Bei Älteren wechseln sich jeweils Hamburg und München auf den ersten beiden Plätzen ab. (Hamburg)

解説

(68)' ① **Junge wollen nach Berlin**

② Unterschiede gab es bei den Altersgruppen. ③ Bei jungen Erwachsenen ist die Hauptstadt sehr beliebt — ④ hier liegt Berlin bei unter 25-jährigen auf Platz eins. ⑤ Bei Älteren wechseln sich jeweils Hamburg und München auf den ersten beiden Plätzen ab.

下線部は〈年齢がより上の人々のもとで〉ということである。これは **alt** の比較級 **älter** を **Leute** に対して付加語的に用いた〈Bei **älteren** Leuten〉から **Leuten** を省略し、形容詞である **älteren** を名詞化したものである。即ち〈Bei **Älteren Leuten**〉ということである。原級、最上級が名詞化されるように比較級もまた名詞化される。

★①若者はベルリンへ行きたがる

②違いは年齢群においても存在する。③若い成人のもとで首都は非常に好まれている — ④ここでベルリンは24歳以下の群では第一位である。⑤年齢

がより上の人々のもとでは、(二つの年齢群において) そのつど、ハンブルクとミュンヘンが上位二位で入れ替わる (=ある群では一位がハンブルク・二位がミュンヘン, 他の群では一位がミュンヘン・二位がハンブルク)。

課題

(69)はドイツのテレビにおける子供向き人気動画番組である „Die Maus“ の作者へのインタビューの一部である。下線部はどのような意味内容だろうか。

(69) Kinder sind das Wichtigste, was wir haben und es gibt ja viel zu wenig Kinder. (Die, Maus S. 1)

解説

(69)' ① Kinder sind das Wichtigste, ② was wir haben ③ und es gibt ja viel zu wenig Kinder.

das Wichtigste は形容詞 **wichtig** の最上級の中性名詞化である。その本来の形は〈**das wichtigste Ding** (もっとも重要な物／事)〉であり, 〈**das Wichtigste Ding**〉ということである。

このように中性形で名詞化されると, 〈形容詞によって示される性格, 資質を備えた物／事〉を表す。

なおこの **das Wichtigste** は, ②の不定関係代名詞 **was** の先行詞となっている。

★①子供たちは最も重要なものです, ②それを私たちはもっています, ③そしてあまりにもわずかな子供しかいなければなおさらです。

①+②+③ 私たちがもっているものの中で, 子供たちは最も重要なもので

す。そしてあまりにもわずかな子供しかいなければなおさらです。

18. 現在分詞と過去分詞の名詞化

18.1 現在分詞の場合

課題

(70)はドイツ人の体重について報じたテキストの一部である。下線部はどのような意味内容であろうか。

(70) Auch das Einkommen und die Tatsache, ob man in einer Großstadt (44 Prozent Übergewichtige) oder auf dem Land (55 Prozent) lebt, wirken sich offensichtlich auf die Körperfülle aus. So sind Männer in Haushalten mit einem Einkommen bis zur 1 300 Euro zu 54 Prozent übergewichtig. Steigt das Einkommen auf bis zu 2 600 Euro, klettert auch das Gewicht: In diesen Haushalten sind bereits 61 Prozent der Männer zu dick. Erst bei den Besserverdienenden, deren Haushaltseinkommen monatlich über 4500 Euro liegt, fallen die Pfunde wieder: Hier bringen noch 51 Prozent zu viele Kilo auf die Waage. (Mehr Singles)

解説

(70) ① Auch das Einkommen und die Tatsache, ② ob man in einer Großstadt (44 Prozent Übergewichtige) ③ oder auf dem Land (55 Prozent) lebt, ④ wirken sich offensichtlich auf die Körperfülle aus. ⑤ So sind Männer in Haushalten mit einem Einkommen bis zur 1 300 Euro zu 54 Prozent übergewichtig. ⑥ Steigt das Einkommen auf bis zu 2 600 Euro, ⑦ klettert auch das Gewicht: ⑧ In diesen Haushalten sind bereits 61 Prozent Männer zu

dick. ⑨ Erst bei den Besserverdienenden, ⑩ deren Haushaltseinkommen monatlich über 4500 Euro liegt, ⑪ fallen die Pfunde wieder: ⑫ Hier bringen noch 51 Prozent zu viele Kilo auf die Waage.

解説

Besserverdienenden という語は小学館の大独和辞典にも採録されていない。これを分解すると、〈besser〉（よりよく）・〈verdienen〉（稼ぐ）・〈d〉（現在分詞）・〈en〉（形容詞の付加語的用法の語尾）となる。したがってこれは〈bei den besserverdienenden Leuten〉の Leuten を省略した現在分詞の名詞化である。即ち〈bei den Besserverdienenden ~~Leuten~~〉ということである。

ちなみに②の最後の Übergewichtige は〈Übergewichtige ~~Leute~~〉という形容詞の名詞化である。

これに対して、定動詞が sein である⑤の最後の übergewichtig は述語形容詞であることから、語尾は何も付されていない。

なお⑥が Steigt ～ と定動詞で始まっているのは、〈wenn の省略〉である。

★①収入と次（②，③）の事実もまた、②人が大都市に住んでいる（44%が超過体重の人々）か、③あるいは田舎（55%）で暮らしているかという、④明らかに体のふくよかさに影響している。⑤そのようなわけで1300ユーロまでの収入のある世帯に暮らす男性は54%が太りすぎである。⑥収入が2600ユーロまで増加すると、⑦体重もまた上昇する：⑧これらの世帯ではすでに男性の61%が太りすぎである。⑨それ以上収入が多い人たちのもとではじめて、⑩その世帯収入が月額4500ユーロを超えている、⑪目方は再び下落する：⑫ここでもまだ51%が過剰な目方を秤の上へと運ぶ。

18. 2. 過去分詞の場合

課題

(76)はドイツ人が住みたい町に関するテキストの一部である。下線部の語はどのような意味内容であろうか。またその元となっている語は何であろうか。

(71) Berlin und München sind bei den Deutschen aber nicht nur beliebt. Für viele Deutsche sind sie auch die unattraktivsten Städte: Als die Befragten angeben sollten, in welcher Stadt sie am wenigsten gern leben würden, wurde Berlin am häufigsten genannt (15 Prozent). (Hamburug)

解説

(71)' ① Berlin und München sind bei den Deutschen aber nicht nur beliebt. ② Für viele Deutsche sind sie auch die unattraktivsten Städte: ③ Als die Befragten angeben sollten, ④ in welcher Stadt sie am wenigsten gern leben würden, ⑤ wurde Berlin am häufigsten genannt (15 Prozent).

これはbefragen（質問する）の過去分詞befragt（質問された）の名詞化である。即ち〈die befragten Leute（質問された人々）〉のLeuteを省略した〈die Befragten ~~Leute~~〉ということである。

15章でも述べたように、現在分詞、過去分詞はいわば動詞起源の形容詞である。そこでこれらの例に見られるように、現在分詞、過去分詞もまた名詞化されることに注意が必要である。

こうした起源のことは多い。Reisende（旅行者←旅をしている人）、Angestellte（勤め人←雇われた人）などのように〈現在分詞や過去分詞の名

詞化〉という起源はほとんど忘れられ、日常よく用いられ、名詞として熟したものは辞書にも採録されている。

しかし⑦⑩の Besserverdienende や Lernende (学習者←学んでいる人) などのように、辞書に記載されていない語も多い。こうした場合には、比較級、最上級の形容詞をもとに作られた名詞から原級を探り出す能力が必要であるように、その元となっている動詞の不定形をつきとめる能力が必要となる。

★①ベルリンとミュンヘンはドイツ人たちのもとではしかし単に好まれているだけではない。②多くのドイツ人たちにとってこれらの町はもっとも魅力のない町でもある：③被質問者が回答を求められたとき、④どの町に彼らがもっとも住みたくないかと、⑤ベルリンはもっともよく挙げられた (15%)。

19. 分詞構文

課題

(72)は日本の人口動態に関するテキストの一部である。下線部はどのような意味内容であろうか。また文を用いて表現するとどのようなになるであろうか。

(72) Statistisch gesehen wird eine Geburtenrate von durchschnittlich 2,1 Kindern je Frau benötigt, um eine Bevölkerungszahl stabil zu halten. (Japaner)

解説

(72) ① Statistisch gesehen ② wird eine Geburtenrate von durchschnittlich 2,1 Kindern je Frau benötigt, ③ um eine Bevölkerungszahl stabil zu halten.

下線部は〈分詞構文〉ないしは〈分詞句〉と呼ばれるものである。その名のとおり、これには現在分詞や過去分詞が用いられる。おおよその内容は次のとおりである。

分詞による副文の代理のことを分詞構文とか分詞句と呼んでいます。つまり目的語や副詞「句」をともなった現在分詞や過去分詞が、1つの句を形成し、副文の代理をするわけです。(常木, p. 247)

そこで下線部を文によって表現するならば、次のようになろう。

①' + ②' **Wenn man es statistisch sieht,** wird eine Geburtenrate ~ .
 人がそれを統計的に見るならば、出生率が ~ 。

★①統計的に見て、②女性一人当たり平均 2.1 人の出生率が必要とされる、③国民の数を安定的に保つためには。

課題

(73)は運転技能に関する男女間での差異について述べたテキストの一部である。下線部はどのような意味内容であろうか。また文を用いて表現するとどのようなになるであろうか。

(73) Auf die Fahrleistung bezogen, schneiden die Frauen etwas schlechter ab als die Männer: Im Jahr 2005 wurden pro Milliarde zurückgelegter Fahrzeugkilometer 34 Autolenkerinnen schwer verletzt oder getötet. Bei den Lenkern waren es 26. (Autofahren, S. 1)

解説

(73) ① Auf die Fahrleistung bezogen, ② schneiden die Frauen etwas schlechter ab ③ als die Männer: ④ Im Jahr 2005 wurden pro Milliarde zurückgelegter Fahrzeugkilometer 34 Autolenkerinnen schwer verletzt ⑤ oder getötet. ⑥ Bei den Lenkern waren es 26.

この場合も分詞構文である。文によって表現するならば、次のようになろう。

①' + ②' **Wenn man es auf die Fahrleistung bezieht**, schneiden die Frauen～。
人がそれを運転技能に関連付けるならば、女性は ～。

なお③は②からの梓構造外配置である。

★①運転技能に関して、②女性は少し成績が悪い、③男性よりも：④2005年には十億車輻キロあたり34人の女性運転者が重傷（にされた）、⑤あるいは殺された（死亡した）。⑥男性運転者の場合、それは26人であった。

20. 冠飾句

課題

(74)は米国における熱波に関するテキストの一部である。下線部の骨格をなす二語はどれであろうか。またこの部分を文で表現するとどのようなになるであろうか。

(74) Die seit zwei Wochen anhaltende Hitzewelle in den USA hat bislang mindestens 150 Menschenleben gefordert. (Hitze)

解説

(74)' ① Die seit zwei Wochen anhaltende Hitzewelle in den USA hat bislang mindestens 150 Menschenleben gefordert.

下線部は「名詞の前に冠（かんむり）として飾りのようについた句」（常木, p. 247）を意味する〈冠飾句（かんしょくく）〉と呼ばれる語法である。その骨格は〈Die Hitzewelle（熱波）〉である。〈長期の熱波〉であれば die Hitzewelle に形容詞 lang を加えて〈die lange Hitzewelle〉となる。これに対して冠飾句は、分詞が付加語として用いられる場合に、他の語句も伴って長い修飾句となったものである（清野, p. 254）。(74)の例でいえば、Hitzewelle を修飾する付加語として現在分詞 anhaltend が用いられ、これにさらに seit zwei Wochen（二週間前から）という句が付加されて下線部のような形になっている。

冠飾句では始めに冠詞（類）が置かれることが多い。そこでこれらと名詞までの距離が長く、その間に現在分詞、過去分詞などがある場合は、次のようにでもすると構造が視覚的にも把握しやすくなるであろう。

Die (seit zwei Wochen anhaltende) **Hitzewelle** ～ .

Die (seit zwei Wochen) anhaltende **Hitzewelle** ～ .

この句を文を使って表現すると次のようになる。

①' **Die Hitzewelle**, ②' **die seit zwei Wochen anhält**, ③' hat in den USA bislang mindestens 150 Menschenleben gefordert.

①' 熱波は, ②' それは二週間前から続く, ③' これまでにアメリカ合衆国で少

なくとも 150 人の犠牲者を出した。

★①二週間前から続く熱波は、アメリカ合衆国でこれまでに少なくとも 150 人の犠牲者を出した。

課題

(75)は冷凍食品に関するテキストの一部である。下線部の骨格をなす三語はどれであろうか。またこの部分を文で表現するとどのようなになるであろうか。

(75) Bei einer Expedition nach Kanada hatte er beobachtet, dass die von den Einheimishchen gefangenen frischen Fische durch den kalten Wind sofort einfroren – und dass diese nach dem Aftauen ebenso gut schmeckten wie frischer Fisch. (Tiefkühlkost, S. 1)

解説

(75) ① Bei einer Expedition nach Kanada hatte er beobachtet, ② dass die von den Einheimishchen gefangenen **frischen Fische** durch den kalten Wind sofort einfroren – ③ und dass diese nach dem Aftauen ebenso gut schmeckten ④ wie frischer Fisch.

下線部の骨格をなすのは die *frischen Fische* (新鮮な魚) である。即ち <die (von den Einheimischen gefangenen) **frischen Fische**> ということである。gefangen は fangen の過去分詞であり、後ろの名詞 Fische を修飾することから、語尾に *en* が付加されている。

この部分を文を用いて表現すると理屈上は次のようになる。しかし dass に導かれる従属文①' と③' の中に関係文②' が割り込み、文構造が複雑化する。

①' dass **die frischen Fische**, ②' **die von den Einheimischen gefangen wurden**, ③' durch den kalten Wind sofort einfroren - ④' und ~

①' 新鮮な魚が, ②' それは原住民によって捕えられた, ③' 冷たい風によってすぐに凍りついた - ④' そして ~

★①カナダへの探検旅行の際に彼は観察した, ②原住民によって捕えられた新鮮な魚が冷たい風によってすぐに凍りついたことを - ③そしてこれが解凍後に同じように美味であったことを, ④生の魚のように。

課題

(76)は、チェコにおけるロマ（いわゆる〈ジプシー〉）に関するテキストの一部である。下線部の骨格をなす六語はどれであろうか。

(76) Der trostlose Park liegt mitten im Prager Viertel Karlin, umgeben von herunter gekommenen, grauen Gebäuden und leer stehenden Geschäften: Viele Wohnungen haben weder Strom- noch Wasseranschluss, die Arbeitslosigkeit liegt zwischen 90 und 100 Prozent und Kinder werden wegen mangelnder Sprachkenntnisse auf Sonderschulen abgeschoben. (Roma, S. 1)

解説

(76) ① Der trostlose Park liegt mitten im Prager Viertel Karlin, ② **umgeben von herunter gekommenen**, ③ **grauen Gebäuden und leer stehenden Geschäften**: ④ Viele Wohnungen haben weder Strom- noch Wasseranschluss, ⑤ die Arbeitslosigkeit liegt zwischen 90 und 100 Prozent ⑥ und Kinder werden wegen mangelnder Sprachkenntnisse auf Sonderschulen abgeschoben

ben.

下線部は冠飾句を伴う分詞構文である。その骨格は **umgeben von** (herunter gekommenen,) **grauen Gebäuden und** (leer stehenden) **Geschäften** (灰色の建物と商店に取り巻かれて) である。なお *umgeben* は非分離動詞の *umgeben* と同形の過去分詞、*gekommen* は *kommen* の過去分詞であるのに対して、*stehend* は *stehen* の現在分詞である。

なお⑥の *mangelnder* も *mangeln* の現在分詞であり、付加語として用いられていることからさらに *er* という語尾が付されている。

★①その殺風景な公園はプラハのカーリン地区の中心にある、②うらぶれた③によって取り囲まれて、③灰色の建物と空き家になっている商店：④多くの住居は電気の接続も水の接続ももたない、⑤失業率は90%と100%の間にある、⑥そして子供たちは不足することばの知識の故に特殊学校に追いやられている。

②+③ うらぶれた灰色の建物と空き家になっている商店に取り囲まれて：

21. おわりに

今回は事の性格上、『『むきだしの』文法規則』(上田, p. 24) ばかりを扱った。しかし〈戦略と戦術 (1)〉で述べたように、テキストの内容理解にとって言語的知識と非言語的知識は密接に関連している。このことは今回のエミューや Sahira のテキストなどからも理解されよう。最後にこうした観点から、言語的知識を相対化する一例を挙げて本稿を終りたい。

ソ連軍映画《9- я р о т а》⁽¹⁾

(加藤健二郎 2012.7)

ロシア語通訳協会の主催による上映会だったので字幕ナシ。

カトケン以外はほぼ全員、ロシア語通訳のスキル集団。

それでも、現場リアルを重視した戦争映画だから、カトケンにもほぼ全てが理解できた。

実際に、外国の戦場取材へ行くと、言語の理解なんかできないまま、自分の見た事物や現象、体験から判断していて、そう大きな誤りはない。それが戦場というもの。部隊配備を（ママ）距離や数などを正確に見て、兵器の種類や数、使用状況を見て、戦闘の行方を見て兵士たちの動きを見てみると、慣れぬ外国語の会話なんかに注視している余裕がないのが戦場というもの。見て判断しなければならないものに溢れていて、それが時々刻々と変化してゆく。

さて、この《9- я р о т а》。戦場と軍隊のリアルを伝えるという点ではかなり凄い。対空ミサイルが発射されて友軍機に命中する直前から、命中して緊急着陸するまでの緊迫シーンを地上の歩兵たちが眺めた視線で描けているところが、映像 描写力として素晴らしい。アメリカ映画だったら、飛行機内部の派手ドタバタなシーンで描くのだろう。しかし、ロシア芸術のセンスでは、歩兵視線からこの緊迫を描けていた。さすが陸戦の王国。

その他の点も軍事マニア・戦場マニアには見応えたくさん。

12, 7 ミリ弾の装弾べると（ママ）。銃の握り箇所を不注意にして火傷

する。部隊の混乱を表す戦闘車両の隊列。ソ連兵の訓練シーンからは、負け戦のあとに強くなれるソ連軍式の兵士の作り方が描かれている。ボロ負けしても戦意喪失しない兵隊はこのようにして作り上げる。射撃する迫撃砲弾にはちゃんと重みがある。規律の乱れと、見て見ぬ振りもロシア軍らしい。

字幕がないので、映像に全神経を注入して観れた。言葉がわからないのが外国の戦場のリアル。そして、言葉わからない人にも伝えられるのは、映像の力。

ちゃんと、映像の力で勝負できる映画。無声映画としても成り立つね。

ラストの派手すぎる戦闘シーンの非現実性が気になる人もいるでしょうけど、本当の戦場を知ってる人の多いロシアでは、このシーンは、ロシア兵の心情描写 ということで問題ない。これを「非現実的だとかなんたら」と議論したがるのは、戦争を中途半端に知った気になってる人たちかも。それまでのシーンの出来の良さとのギャップを考えれば、ラストのところはエンディングロールと捉えるほうがいい。BGM がアメージンググレースか、リリーマルレーンだったら、そう捉えやすかったか。

観客として来ていたロシア語通訳の人たちは、「戦争映画だから専門用語が多くて理解が難しかった」とのこと。言葉から見ようとする人と映像から見ようとする人の違いかもね。「専門用語なんかわかんなくても、画面に映ってるじゃん」って思えちゃうのは、カトケンが戦場マニアだからだけだ。（加藤健二郎）（下線筆者）

これはある意味では〈読解の鑑〉である。語彙や文法を知らずとも、このよ

うにして内容が理解できることは一つの理想である。要は分かればよいのである。しかし著者のように豊富な背景の知識や経験を身につけていても、これが必ずしも常に可能とは限らない。細部にわたる精確、厳密な理解が必要な場合には、こうした方法に限界があることも確かであろう。またほぼ内容的知識に依存するこのような方法では、自分にとって未知の分野の理解は不可能となる。軍事のみならず、社会、文化、政治、生活、自然科学などあらゆる分野に通暁することは困難である。

そこで必要となるのが語彙や文法に関する言語的知識・能力である。そのもっとも優れた点は分野を超えた汎用性である。weil は美術史のテキストでも養鶏に関するテキストでも weil であり、現在完了形は現在完了形である。したがって、加藤のような非言語的理解能力を下地として、これに言語的知識・能力が加わればまさに〈鬼に金棒〉である。これこそが一連の拙稿が求める読解の理想の姿である。

語彙や文法的知識・能力の獲得はあくまでも一戦術的方策にすぎない。そこで要は、これを自己目的化することなく、テキストの内容理解という戦略目標実現に向けて、いかに内容的知識と協働させて使いこなすかである。

註(1) «第九中隊»。

参考文献

- 1) 上田浩二 (1989). 「語学教育における『読む』ことの意味をめぐって—訳読と翻訳」. 『語学教育論集 4』. 早稲田大学語学教育研究所.
- 2) ヴォルフガング・ミッヒェル, 樋口忠治他共著. (1980). 『これからのドイツ語』. 郁文堂.
- 3) 加藤健二郎. 『http://www.higashi-nagasaki.com/d_r/dr2012_004.html』 (2014 年 2 月 1 日採録). 東長崎機関.
- 4) 国松孝二他編. 『大独和辞典』. (1985). 小学館.
- 5) 在間 進. (1992). 『[詳解] ドイツ語文法』. 大修館書店.
- 6) 清野智昭. (2008). 『中級ドイツ語のしくみ』. 白水社.
- 7) 関口一郎. (1994). 『マイスター ドイツ語コース 1 文法』. 大修館書店.
- 8) 関口存男. (1980). 『冠詞・第一巻・定冠詞編』. 三修社.
- 9) 常木 実. (1984). 『標準ドイツ語』新訂版. 郁文堂.
- 10) 中山 豊. (1996). 『コレクション ドイツ語 8 文法』. 白水社.

- 11) 堀 栄三. (1996). 『大本営参謀の情報戦記 ―情報なき国家の悲劇』. 文春文庫.
- 12) Duden 4 Die Grammatik. (1995). 5., völlig neu bearb. und erw. Aufl., Dudenverlag.

例文出典

〈ドイツ語Ⅱ 総合〉統一教材

Arbeitnehmer:

«Zu Hause hatte ich kein Geld für Studium. In der Schweiz putze ich»

Nach einem Text von Nadine Chagnat; „Blick“ vom 18. 3. 2013

<http://www.blick.ch/news/wirtschaft/zu-hause-hatte-ich-kein-geld-fuers-studium-in-der-schweiz-putze-ich-id2241033.html>

Autofahren:

20 Minuten Online –Frau oder Mann — wer fährt besser Auto?... 04. Februar 2011.

(Originaltext leicht gekürzt und vereinfacht. URL: <http://www.20min.ch/wissen/news/story/12370981>)

Bangladesch:

Textilien aus Bangladesch Faire Produktion erkennt man nicht am Preis.

Nach einem Text von Hans von der Hagen in „Süddeutsche Zeitung“ vom 10. 5. 2013

<http://www.sueddeutsche.de/wirtschaft/zwangsarbeit-ausgebeutet-und-versklavt-1.1649949-3>

bauchfrei:

Bauchfreie Mode –schick und ästhetisch?- August 2004.

Nach einem Unterrichtsmaterialvorschlag von Goethe-Institut Inter Nationes:

<http://www.goethe.de/in/d/schulen/laku/bauchfrei-f.html>

Bier:

Sommerzeit ist Biergartenzeit.

Text und Glossar verfasst vom deutschen Auslandsrundfunk „Deutsche Welle“:

<http://www.dw-world.de/dw/article/0,2144,2095877,00.html>

Containerer:

Essen aus der Mülltonne. 22. April 2008

Text verfasst für den deutschen Auslandsfunk „Deutsche Welle“:

<http://www.dw-world.de/dw/article/0,2144,3283375,00.html>

Die Maus:

Lernen von den Alten: Armin Maiwald Der Mann, der die Maus erfand. 2011 年度教材

Nach einem Text von Oliver Tepel <http://www.goethe.de/z/jetzt/dejzus76/dejzus76.htm>

Edel-Kellner:

Von Beruf Edel-Kellner „Wenn jemand seltsam ist, bin ich's auch“. 13. Juli 2011.

Das Interview führte Renate Frank für die Zeitschrift „essen & trinken“

(Originaltext leicht gekürzt und vereinfacht. URL: <http://www.spiegel.de/karriere/berufsleben/von-beruf-edel-kellner-wenn-jemand-seltsam-ist-bin-ich-s-auch-a-768396.html>)

Einzelhandel:

Zukunftschancen der Warenhäuser. 18. Mai 2009

Text nach: <http://www.dw-world.de/dw/article/0,4242459,00.html>

Autor: Karsten Zummack Redaktion: Henrik Böhme

Energiewende:

Chancen der Energiewende Ein Gespräch mit Kazuya Kitamura, dem Leiter des Japan Renew-

able Energy Research Institute. 02. Mai 2012.

Nach einem Text von Kurt de Swaaf; „deutschland.de“ (Frankfurter Societäts-Medien GmbH)
<https://www.deutschland.de/de/topic/umwelt/energie-technologie/chancen-der-energie-wende>

Glücksboten:

Glücksboten zu Sylvester Warum bringen uns diese Tiere Glück?

Nach einem Text von Josef Scheppach in „Focus“ vom 30. 12. 2011

http://www.focus.de/wissen/mensch/tid-24597/gluecksboten-zu-sylvester-warum-bringen-uns-diese-tiere-glueck_aid_698325.html

Hamburg:

Wo Deutsche wohnen wollen. Jeder sechste will in Hamburg wohnen.

Nach einem Bericht in „Focus“ vom 19. 4. 2013

http://www.focus.de/immobilien/kaufen/wo-deutsche-wohnen-wollen-hamburg-ist-deutschlands-beliebteste-grossstadt_aid_965210.html

Hochschule:

Hochschule will die Besten. 16. März 2007.

Text und Glossar verfasst vom deutschen Auslandsrundfunk „Deutsche Welle“:

<http://www.dw-world.de/dw/article/0,2144,2386791,00.html>

Investmentmankerin:

Investmentbankerin Barbara Stcherbatcheff Gier! Neid! Ego. 26. Februar 2010.

(Originaltext leicht gekürzt und vereinfacht. URL: <http://www.sueddeutsche.de/geld/investmentbankerin-barbara-stcherbatcheff-gier-neid-ego-1.12746>)

Mauerfall:

„Der Mauerfall ist Teil meiner Biografie“. 12. Juni 2009.

Text nach: <http://www.magazine-deutschland.de/de/leben/gesellschaft/artikelansicht/article/der-mauerfall-ist-teil-meiner-biografie.html>

Meister:

Meister im Export: Das deutsche Handwerk. 19. August 2007.

Leicht gekürzte Version eines Textes von Vera Möller-Holtkop, verfasst für den deutschen Auslandsrundfunk „Deutsche Welle“:

<http://www.dw-world.de/dw/article/0,2144,2974824,00.html>

Nach dem Abi:

Nach dem Abi ins Ausland.

Nach einem Text von Daniel Hackbarth in „Stuttgarter Zeitung“ vom 11. 4. 2013

http://www.stuttgarter-zeitung.de/inhalt.nach-dem-abi-ins-ausland-eine-frage-der-organisation._dc892ec8-8d4b-4668-967c-6b62bc70d4c7.html

Namenforschung:

Was deutsche Namen über ihre Träger verraten Auf der Suche nach dem Ich.

Nach Magazin Deutschland vom 04. 02. 09 Interview: Rainer Stumpf

URL: [http://www.magazine-deutschland.de/de/artikel/artikelansicht/article/auf-der-suche-nach-dem-ich/mdissue/091.html?tx_ttnews\[issue\]=091&cHash=21eba31506](http://www.magazine-deutschland.de/de/artikel/artikelansicht/article/auf-der-suche-nach-dem-ich/mdissue/091.html?tx_ttnews[issue]=091&cHash=21eba31506)

Partnersuche:

«Die Frauen können das besser»

Text nach einem Interview von Michael Furger in der Neuen Zürcher Zeitung vom 26. Dezember 2010 http://www.nzz.ch/nachrichten/startseite/die-frauen-koennen_das_besser_1.8887264.

html

Roma:

Roma am Rand von Stadt und Gesellschaft. 24. November 2006.

Text und Glossar verfasst vom deutschen Auslandsrundfunk „Deutsche Welle“:

<http://www.dw-world.de/dw/article/0,2144,2246786,00.html>

Sahira:

Sängerin Sahira vereint Hip-Hop und Islam. 22. Mai 2007.

Text verfasst von „Deutschlandradio“:

<http://www.dradio.de/dkultur/sendungen/profil/627075/>

© 2007 Deutschlandradio

Tiefkühlkost:

Die Tiefkühlkost wird 80 „Besser als frisch“.

Text nach Süddeutsche Zeitung vom 6. März 2010 *Interview: Sarina Pfauth*

URL: <http://www.sueddeutsche.de/leben/die-tiefkuehlkost-wird-besser-als-frisch-1.8701>

Vater und Sohn:

Vater und Sohn.

Nach einem Text von Ulike Bretz in der Süddeutschen Zeitung vom 13. 3. 2010

<http://www.sueddeutsche.de/leben/pflege-von-angehoerigen-vater-und-sohn-1.12806>

Verkleidespiel:

Exportschlager: japanische Jugendkultur. 07. August 2007.

Text und Glossar verfasst vom deutschen Auslandsrundfunk „Deutsche Welle“:

<http://www.dw-world.de/dw/article/0,2144,2728146,00.html>

〈ドイツ語読解法〉教材テキスト

Akademikerin:

Ja zum Beruf, Nein zum Kind.

Globus. 06. Oktober. 2003.

Armut:

50 Millionen Amerikaner hatten 2008 nicht genug zu essen.

© SPIEGEL ONLINE 2009 17. November 2009, 10:15Uhr

URL: <http://www.spiegel.de/panorama/gesellschaft/0,1518,661706,00.html>

Bedrohung:

Die Bedrohung von Luft, Wasser, und Erde. 25. Oktober 2007.

URL: <http://sueddeutsche.de/wissen/hintergrund-die-bedrohung-von-luft-wasser-und-erde-1.826691>

Ehescheidung:

Jede hundertste Ehe wird geschieden.

Frankfurter Rundschau 04. August 1999.

Emus:

Emus fallen über die Felder her.

Frankfurter Rundschau. 16. August 2002.

Go West:

Go West.

Globus. 02. Mai 2008.

Hitze:

Zahl der Hitzetoten in den USA steigt auf 150.
Frankfurter Rundschau. 02. August 1999.

Hunger:

Hunger.
Frankfurter Rundschau 28. Juli 2004.

Japaner:

Japaner werden weniger. 17. Dezember 2006.
<http://www.n-tv.de/panorama/Japaner-werden-weniger-article203941.html?service=print>

Kommen und Gehen:

Kommen und Gehen.
Globus 07. Juli 2008.

Mehr Singles:

Mehr Singles, mehr Dicke.
Presse und Sprache. August 2006.

Preisanstieg:

Sonnleitner warnt vor Preisanstieg.
Frankfurter Rundschau. 14. Juli 2010.

Täglich Fleisch:

Täglich Fleisch, aber Brotmangel Worldwatch: Reiche essen sich krank, Arme hungern.
Frankfurter Rundschau. 03. Juli 1998.

Wärmstes Jahr:

Wärmstes Jahr des Jahrhunderts.
Globus. 29. Januar 2001.

Weniger Kinder:

Weniger Kinder ältere Mutter.
Globus. 17. November 2005

新二年次生用課題テキスト

Schweizer:

«Die Bevölkerung nimmt es gelassen» Ein Schweizer in Tokio gibt Auskunft. 15. März 2011.
(Panorama, NZZ Online) http://www.nzz.ch/nachrichten/panorama/die_bevoelkerung...
1 von 2 01.04.11 14:57